OLYMPUS®

CAMEDIA

デ ジ タ ル カ メ ラ

C-900ZOOM

取扱説明書

- ❑ このたびは、オリンパス デジタルカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。
- ❑ ご使用前にこの説明書をお読みください。
- ❑ 大切なもの（海外旅行など）をお撮りになる前には、試し撮りをすることをおすすめします。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。
飛行機内では、離発着時のご使用をお避けください。
尚、本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を越えることが考えられます。必ず、指定のケーブルをご使用ください。

商標について

Windowsは米マイクロソフト社の登録商標です。MacintoshおよびAppleは米アップルコンピューター社の登録商標です。その他全てのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

- 説明文中の ⚠ 警告・ ⚠ 注意は、特に気を付けてお読みください。
- ☞はその他の留意事項を示しています。

本取扱説明書をお読みになる前に

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止されています。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用により、万一損害が生じたり、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、オリンパス指定外の第三者による修理その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。
- 文中のイラストは、実際の製品と異なる場合があります。

オリンパス光学工業株式会社

安全にお使いいただくために

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。また、お読みになったあとは必ず保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害を被るおそれがある内容を示しています。

⚠ 警告

1. フラッシュを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光しないでください。目に近づけて撮影すると、視力に回復不可能な程の傷害をきたすおそれがあります。特に乳幼児に対して１m以内の距離で撮影しないでください。

2. 日光および強い光に向けて本製品を使用しないでください。目に回復不可能な程の傷害をきたすおそれがあります。

3. 可燃性ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。

4. この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。以下のような事故発生のおそれがあります。

・誤ってストラップを首に巻き付け、窒息を起こす。

・電池や小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

・目の前でフラッシュが発光し、視力に回復不可能な程の障害を起こす。

・カメラの動作部でけがをする。

5. 電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により、火災やけがのおそれがあります。
   ・このカメラで指定されていない電池を使わないでください。
   ・電池をショートさせたり、加熱、分解および火の中に入れたりしないでください。
   ・古い電池と新しい電池、種類の異なる電池、異なるメーカーの電池を混ぜて使わないでください。
   ・充電できないアルカリ電池、リチウム電池を充電しないでください。
   ・取り外した電池は幼児、子供の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
   ・電池の＋－の極性を逆に入れないでください。
6. 湿気やほこりの多い場所にカメラを保管しないでください。火災や感電の原因となります。
7. フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。また連続発光後、発光部分に手を触れないでください。やけどのおそれがあります。
8. 万一、水に落としたり、内部に水が入ったときは、速やかに電池を抜き、販売店またはオリンパスサービスステーションにご相談ください。火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

1. 異臭、異常音、もしくは煙が出たりするなどの異常が生じた場合は、やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、最寄りの販売店もしくはオリンパスサービスステーションにご連絡ください。火災や、やけどの原因となります。
2. 本製品の分解、改造はしないでください。感電やけがをする原因となります。
3. 長期間使用しない時は電池を取り出しておいてください。電池の発熱や液漏れにより、火災やけが、周囲が汚れる等の原因になります。
4. 電池の液漏れが起こったら使用しないでください。放っておくと、火災や感電の原因となります。販売店またはオリンパスサービスステーションにご相談ください。
5. 濡れた手で操作しないでください。感電の危険があります。
6. 異常に温度が高くなるところに置かないでください。部品が劣化したり、火災の原因となることがあります。
7. 電池を使って長時間連続使用したあとは、電池をすぐにとり出さないでください。やけどの原因となることがあります。

ご使用の前に

お取り扱いについて

❖ 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で本製品を使用または保管した場合、動作不良や故障の原因となりますので絶対に避けてください。
・直射日光下や夏の海岸など
・高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
・砂、ほこり、ちりの多い場所
・火気のある場所
・揮発性物質のある場所
・冷暖房器、加湿器のそば
・水に濡れやすい場所
・振動のある場所
・自動車の中

❖ カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。

❖ レンズを直射日光に向けて放置しないでください。CCDの退色・焼きつきを起こすことがあります。

❖ 長時間使用しないと、カビがはえたり故障の原因になることがあります。使用前には作動点検をされることをおすすめします。

❖ 三脚につける場合、デジタルカメラを回して取り付けないでください。

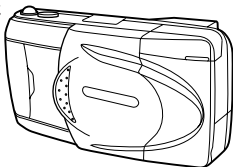
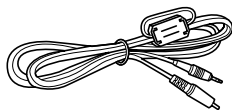
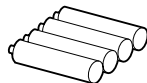
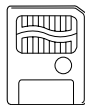
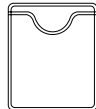
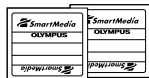
❖ 本体の電気接点部には触れないでください。

❖ フラッシュを短時間に何度も発光させると、発光部の温度が上がることがありますので、直接手を触れないでください。

❖ レンズに無理な力を加えないでください。

電池について

- ❖ 電池は単3アルカリ電池、ニッケル水素電池、リチウム電池、またはニッカド電池4本を使用します。
- ❖ 撮影条件、使用環境及び電池により撮影枚数が減少する場合があります。
- ❖ オリンパス製ニッケル水素電池をおすすめします(充電器セット B-30S／B-31S)。繰り返し使用でき経済的です。また、低温時のご使用にも有効です。
- ❖ マンガン電池は使用できません。電池寿命が短いばかりでなく、電池の発熱等により本体に損害をもたらすおそれがあります。
- ❖ 電池は正しく使いましょう。誤った使い方は液もれ・発熱・破損の原因となります。交換するときは、＋－の向きに注意して正しく入れてください。
- ❖ 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。なお、低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると回復します。
- ❖ 電池の＋－極が汗や油で汚れていると、接触不良をおこす原因になります。乾いた布でよく拭いてから使用してください。
- ❖ 長期間の旅行などには、予備の新しい電池を用意することをおすすめします。特に海外では、地域によって入手困難なことがあります。
- ❖ ニッケル水素電池およびニッカド電池を使用の場合は、必ず電池で指定された充電器で完全に充電してからお使いください。
- ❖ ニッケル水素電池およびニッカド電池をご使用になる際は、電池、充電器等の説明書をよく読んで、正しくお使いください。

中身を確認しましょう（同梱品）

主な特長

■ 高画質131万画素CCD(総画素数)と高性能ズームレンズで、クラス最高レベルの画像が得られます。

■ 3倍ズームレンズと2Xデジタルテレモード**で6倍ズーム相当の撮影が可能です。

■ 枚数を気にせず撮影できる、リムーバブルメモリのスマートメディアを採用(パノラマ機能付)。

■ ビデオ出力端子付で、画像のテレビ再生も楽しめます(NTSC方式)。*

■ 別売の機能付スマートメディアを使って合成画像も簡単に作れます。

■ 別売の専用プリンタでダイレクトプリント可能。システムの拡張も楽しめます。

■ 光学ファインダーに加え、1.8インチ高精細液晶モニタもファインダーとして使えます。

■ 電池駆動、軽量、コンパクトサイズで携帯性に優れています。

*　海外では地域によりご利用になれません。

**　標準画質(SQ)モードでのみご使用いただけます。

デジタルカメラを使った楽しみ方

機能付スマートメディアを使えば

オリンパスのスマートメディア(カード)を使えば、通常の記録だけでなく、下記の機能もお楽しみいただけます。

❍ パノラマ合成機能
標準カード(パノラマ合成機能付) (8MB=同梱／2・4・8・16MB=別売)とパソコン接続キットC-5KP(別売)のユーティリティソフトを使ってパノラマ合成画像作成

❍ 合成テンプレート機能
テンプレートカードM-4T(4MB=別売)を使って合成画像作成

❍ カレンダー機能
カレンダーカードM-4C(4MB=別売)を使ってカレンダー画像作成

❍ 手書きタイトル機能
手書きタイトルカードM-4N(4MB=別売)を使ってタイトル入り画像作成

専用プリンタP-330／P-300／P-150(別売)を使えば

❍ パソコンなしでも画像をダイレクトにプリントアウト
❍ 日付入り印刷も思いのまま
❍ 機能付スマートメディア(別売)で作った画像をプリントアウト
❍ 16分割シールペーパープリントも簡単
❍ 転写プリントで左右反転の印刷にも対応

パソコンに接続すると

❍ パソコン接続キットC-5KP(別売)のユーティリティソフトを使ってデータを加工・保存、プリントアウトしたり、パノラマ合成画像の作成ができます。なお、お手持ちのC-3KP/C-4KPのユーティリティソフトではご使用になれません。

その他にも

❍ 通信アダプタT-100HS(別売)にモデムカードを組み合わせて、携帯電話から画像を伝送できます。
❍ テレビに接続して、大きい画面で画像を見ることができます。

目 次

液晶モニタで再生してみましょう

再生／印刷機能

再生時の細かな設定をしましょう

印刷してみましょう

画像をとりこみましょう

その他

各部の名称

シャッターボタン(P.22参照)
コントロールパネル(P.14参照)
ズームレバー
(P.26/44参照)
フラッシュ(P.29参照)
レンズバリア
(P.18参照)
レンズ
カードカバー
(P.18参照)
コネクター
カバー
ビデオ出力端子
(P.48参照)
DC入力端子
(P.17参照)
データ入出力
端子
(P.56/66参照)

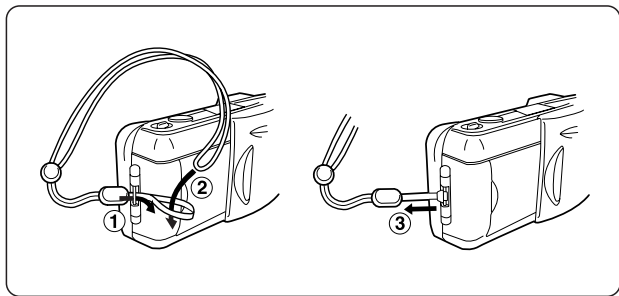
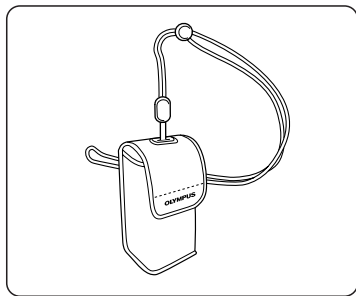
液晶モニタ ON/OFFボタン(P.25/42参照)
メニューボタン(P.36/49参照)
ファインダー(P.14参照)
視度調整ダイヤル
(P.22参照)
液晶モニタ
(P.14参照)
−ボタン(P.43参照)／
2.5mワンタッチフォーカスボタン(P.27参照)
＋ボタン(P.43参照)
OKボタン(P.37/50参照)／
∞ワンタッチフォーカスボタン(P.27参照)
フラッシュモードボタン(P.30参照)／
インデックスディスプレイモードボタン
(P.43参照)
セルフタイマーボタン(P.28参照)／
プロテクトボタン(P.46参照)
ファンクションボタン(P.33/45参照)
1コマ消去ボタン(P.47参照)
2.5m/8ft
OK
電池カバー
(P.16参照)
三脚穴

ファインダー部

液晶モニタ部

コントロールパネル部

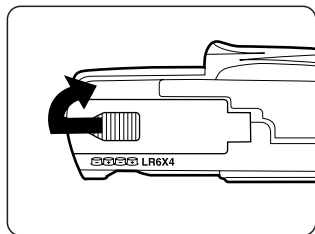
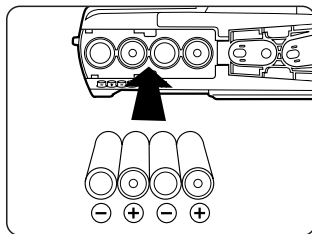
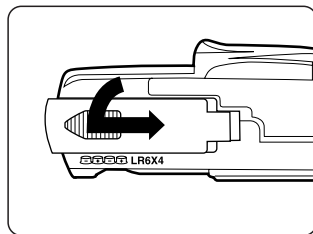
準備をしましょう

ストラップ・カメラケースの使い方

カメラにストラップを取り付けます。

ストラップをカメラケースに通します。

⚠ 注意

◆上記にしたがって正しい取り付けを行ってください。万一、誤った取り付けによりストラップが外れて本体を落とした場合、損害等一切の責任は当社では負いかねますのでご了承ください。

電池を入れます

電池は単3アルカリ電池、ニッケル水素電池、リチウム電池、またはニッカド電池4本を使用します。

1 電源がオフになっていることを確認します。
2 電池カバーを横にずらし引き上げます。

3 図のように電池の向きを正しく合わせて入れます。

4 部分を押し、電池カバーが閉じた状態で横にずらしてロックします。

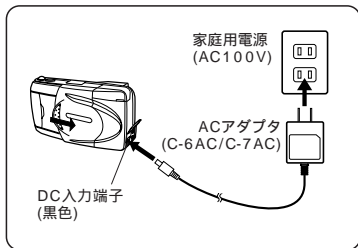
○ 電池カバーの先端部を押すと閉まりにくくなる場合があります。

⚠ 注意

◆マンガン電池は使用できません。
◆電池に関するご注意をお読みください。(P.6参照)

家庭用電源の使い方

別売の専用ACアダプタ(C-6AC/C-7AC)で、家庭用電源(AC100V)から電源を取ることができます。

☞

◆ACアダプタを長時間接続するとACアダプタ本体が少し熱を持ちますが、故障ではありません。

⚠ 警告

火災・感電・やけどのおそれがあります。

◆電源は必ずAC100Vをご使用ください。

◆専用ACアダプタ(C-6AC/C-7AC)は、日本国内でのみ使用可能です。外国では使用しないでください。

◆ACアダプタのプラグの差し込みが不完全な状態では使用しないでください。

◆濡れた手でのACアダプタのプラグの抜き差しは絶対にしないでください。

◆万一ACアダプタやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常が発生した場合、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止してください。また、直ちに販売店または当社サービスステーションにご相談ください。

◆専用のACアダプタ(EIAJ規格・極性統一型プラグ付)以外は絶対に使わないでください。カメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故が起きる可能性があります。専用以外のACアダプタの使用により生じた障害は保証しかねますので、あらかじめご了承ください。

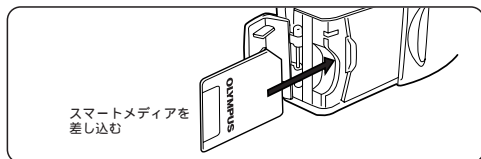
◆ACアダプタをコンセントから抜くときは、必ずACアダプタの本体を持って抜いてください。

◆ACアダプタのコードを無理に引っ張ったり、折り曲げたり、ねじったり、継ぎ足したりすることは絶対にやめてください。

◆ACアダプタのコードに傷、断線、またはプラグに接触不良があったりした場合は、すぐにお買い上げの販売店にご相談ください。

◆ACアダプタを接続したり外したりする場合は、必ず本体の電源がOFFになっていることを確認してください。(カメラに電池が入っている場合も同様です。)

◆使用しないときは、必ずACアダプタをコンセントから外してください。

スマートメディアを差し込みます

1 スマートメディア(以下カードといいます)を図示の方向に差し込みます。

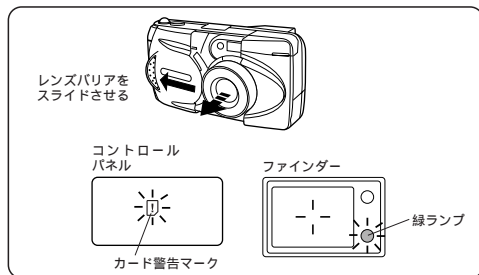
❍ 機能付スマートメディア(別売)を使用する場合も同様に差し込みます。

❍ 市販の5Vカードは使用できません。当社カードまたは市販の3.3Vカードをご使用ください。

❍ 市販の3.3Vカードをご使用の場合、カメラでの初期化をおすすめします。

⚠ 注意

- **◆ デジタルカメラ作動中には、絶対にカードカバーを開けたり、カードや電池を取り出したり、電源プラグを抜いたりしないでください。カード内のデータが破壊されることがあります。**
- **◆ カードは精密機器です。無理な力や衝撃を与えないでください。**

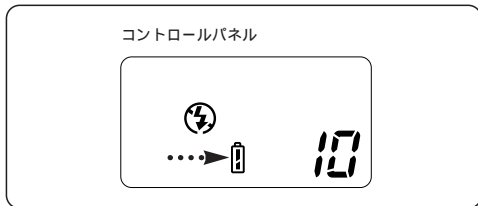
電源を入れます

1 レンズバリアをカチッと音がするまでスライドさせます。

❍ 電源が入ると、自動的にカードチェックが行われます。カードに問題がある場合(カードが入っていない時/プロテクトされて書込不能の時)は「ピー」という音が鳴り、コントロールパネルのカード警告マークとファインダー横の緑ランプが点滅します。

☞

- **◆ カードに初期化が必要な場合はコントロールパネルのカード警告マークが点灯し、初期化モードに入ります。(P.54参照)**

電池残量をチェックします

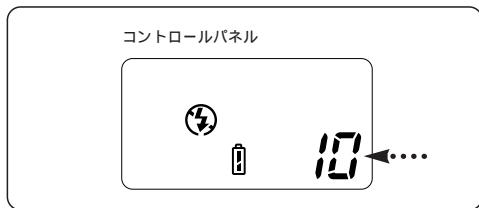
電源が入ると、コントロールパネルに電池残量が表示されます。

電池残量の目安は次のように表示されます。

電池残量表示の状態	意味
🔋が点灯。（自動的に消えます。）	電池の残量は十分です。撮影できます。
🔋が点滅し、コントロールパネルの他の表示は通常通り点灯。	電池の残量が少なくなりました。新しい電池と交換してください。
🔋が点滅し（12秒後に消灯）、パネルの他の表示は消灯。	電池の残量がなくなりました。新しい電池と交換してください。

☞

◆長期の旅行、大切な行事、寒冷地での撮影などには予備の電池をご用意になるか、充電できるニッケル水素電池(別売)のご使用をおすすめします。(P. 6参照)

◆なにも操作をしないまま3分を経過すると、パワーセーブ機構が働き、コントロールパネル表示が消えます。レンズバリアをいったん閉めて再度開くか、ズームレバーを操作するとコントロールパネル表示が点灯します。なお、約4時間たつと自動的に電源が切れますが、しばらく撮影しないときはできるだけレンズバリアを閉じてください。(新品電池をお使いの場合は、電池の種類によりこの時間が長くなる場合があります。)

撮影可能枚数をチェックします

カメラの電源を入れるとコントロールパネルに撮影可能枚数が表示されます。

❍ 撮影可能枚数が0になると「ピー」という音が鳴り、緑ランプが点滅します。再度バリアを開く時も同じです。

❍ 撮影可能枚数は設定画質モードによって変わります。

❍ 画質モードの設定はP.39をご覧ください。

撮影可能枚数

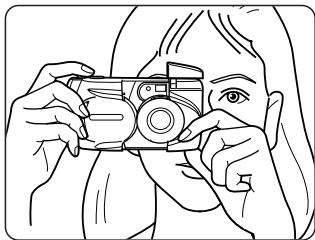
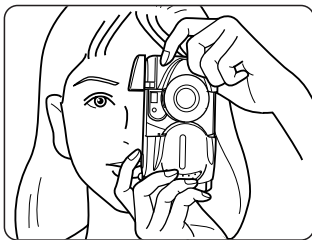
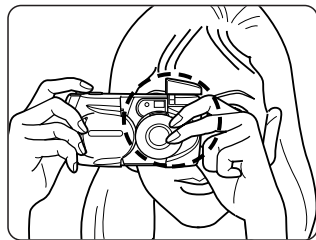
画質モード ＼ スマートメディアの記憶容量	標　準	高画質		
	SQ	HQ	SHQ	非圧縮SHQ
2MB	30枚以上	9枚以上	4枚以上	0枚
4MB	60枚以上	18枚以上	9枚以上	1枚
8MB	122枚以上	36枚以上	18枚以上	2枚
16MB	244枚以上	73枚以上	36枚以上	4枚

◆撮影毎にカウンタが減らなかったり、1コマ消去しても増えない場合があります。

◆撮影対象によりデータ量が異なる為、撮影可能枚数よりも多く撮影できることがあります。

◆撮影前に日時を設定しておきましょう。(P.53参照)

カメラに慣れましょう

カメラの構え方

よこ位置

たて位置

悪い例

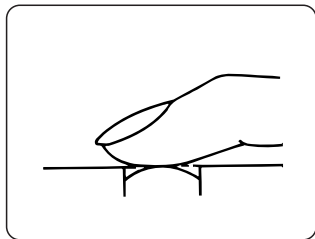
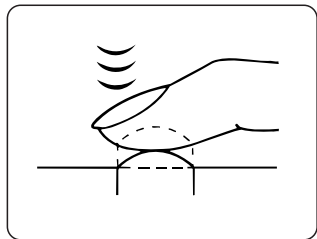
❍ 両手でしっかりカメラを持ち、脇をしっかりしめます。
❍ たて位置のときは、フラッシュが上になるようにします。

⚠ 注意

◆ レンズに無理な力を加えないでください。

☞

◆ レンズ、フラッシュに指やストラップがかからないようにご注意ください。

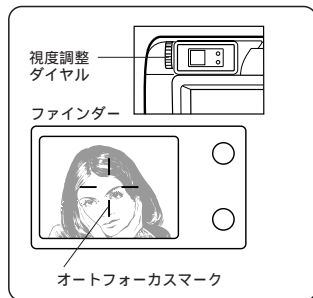
シャッターボタンの押し方

1 軽く押すと・・・（半押し）

❍ ファインダー横の緑ランプが点灯します。
❍ この時露出とピントが固定されます。

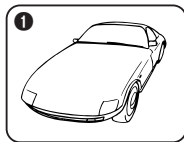
2 さらに押し込むと・・・（押し切り）

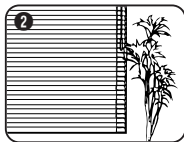
❍ 撮影が行われピピッと音がします。
❍ カードへの書込中はファインダー横の緑ランプが点滅します。

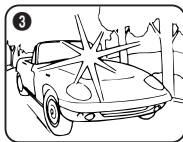
> **◆シャッターボタンは静かに押してください。**
> **シャッターボタンを押すときにカメラが動くと写真がぶれる原因となります。**
> **◆ファインダー横のオレンジランプが点滅した時には、フラッシュを使用してください。(P.29参照)**

視度の合わせ方

1 視度調整ダイヤルをまわし、オートフォーカスマークが鮮明に見える位置に合わせます。

ピントの合いにくいもの (オートフォーカスの苦手な被写体)

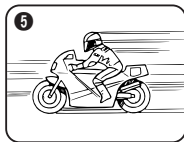
ほとんどの被写体に対してオートフォーカスが可能ですが、以下❶〜❸のような条件ではピントが合わない時があります。また、❹、❺のような被写体では、ファインダー内の緑ランプが点灯し、シャッターが切れてもピントが合っていない時があります。その場合は以下の方法または、ワンタッチフォーカス(P. 27)で撮影してください。

コントラストのない被写体

❍ 被写体と同距離にあるコントラストのはっきりしたものでフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

縦線のない被写体

❍ カメラを縦位置に構えてフォーカスロックした後構図を横にもどして撮影してください。

画面中央に極端に明るいものがある被写体

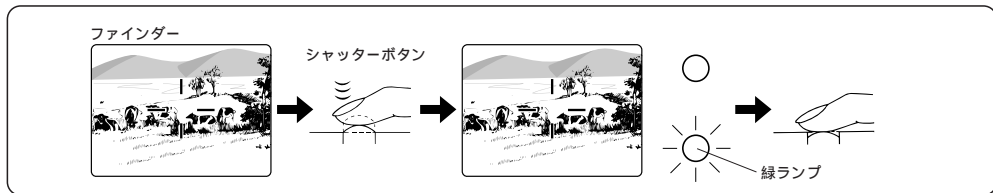
❍ 被写体と同距離にあるコントラストのはっきりしたものでフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

遠いものと近いものが共存する被写体

❍ オートフォーカスして緑ランプが点灯しても撮影したい被写体がぼけているときは、同じ距離にあるものでフォーカスロックしてから構図を決めて撮影してください。

動きの速い被写体

❍ あらかじめ撮影したい被写体と同じ距離にあるものでフォーカスロックしてから、構図を決めて撮影してください。

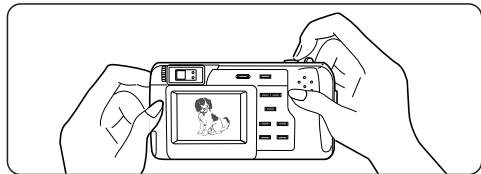
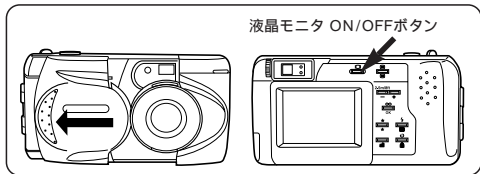
撮影しましょう

写します

光学ファインダーを使った撮影のしかた

1 ファインダーをのぞき構図をきめます。
2 シャッターボタンを半押しすると、ファインダー横の緑ランプが点灯します。
3 そのままシャッターボタンを押し切ります。
4 「ピピッ」と音が鳴れば撮影完了です。
5 ファインダー横の緑ランプの点滅が終わると、次の撮影に入れます。

❍緑ランプの点滅は、画像を処理していることを表しています。ランプの点滅中にシャッターボタンを押してもシャッターは切れません。(緑ランプの点滅時間は画質モード等により異なり、約2～40秒以内に終わります。)

⚠ 注意

◆緑ランプの点滅中には、絶対にカードカバーを開けたり、電池やカードを抜いたり、電源プラグを抜いたりしないでください。(場合によっては今撮影した内容が記録されないだけでなく)撮影済みの内容が破壊される恐れがあります。

液晶モニタを使った撮影のしかた

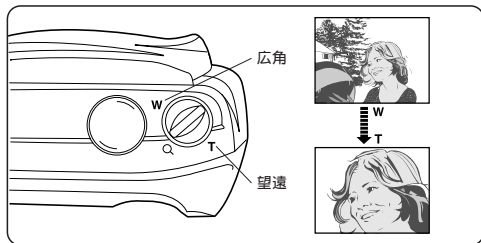
1 レンズバリアを開いた状態で、液晶モニタON/OFFボタンを押して液晶モニタを点灯させます。

❍ 再度ボタンを押すとモニタは消灯します。

2 液晶モニタを見ながら構図をきめます。

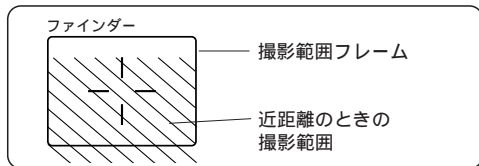
3 ファインダーを使った撮影と同じ手順で撮影してください。(P.24参照)

- **◆液晶モニタの再生画像は構図確認のためのもので、ピント・露出等の詳細な状態を表示できるものではありません(ビューファインダーとして利用時及び、モニタ再生時共に)。特に大切なシーンの撮影では、必ずパソコンの画面で確認をしてください。**
- **◆液晶モニタを使って撮影した場合は使わない時よりも書き込み時間が長くなります。**
- **◆被写体が斜めの時、液晶モニタにギザギザが見えますが、故障ではありません。再生時には目立たなくなります。**
- **◆晴天下のように明るい場所で撮影した時、わずかに縦スジ(スミア)が入る場合がありますが、故障ではありません。**
- **◆液晶モニタを見ながらの撮影も可能ですが、ファインダーからのぞくほうがカメラぶれは起こりにくく、楽に撮影ができます。また、ファインダーを使用した方が電池を消耗せず、より長時間の撮影が可能となります。**
- **◆ファインダー、液晶モニタのどちらを使っても、構図よりやや広い範囲が撮影されます。**

ズーム

3倍ズームで望遠や広角撮影ができます

ズームレバーを **T** 側へ引くと望遠になります。
ズームレバーを **W** 側へ押すと広角になります。

◆ 2Xデジタルテレモードと組み合わせると、6倍ズーム相当の撮影が可能です。(P.34参照)

撮影距離

撮影範囲フレームは∞（無限遠）時に写る範囲ですが、撮りたいものまでの距離が近づくにつれて写る範囲が下に移動します。
(ズームを望遠側にすると移動量は大きくなります。)

撮影は 0.2 m ～ ∞ (無限遠）の範囲で行ってください。

❍ 0.2 mより近い距離ではシャッターは切れますが、ピントと露出は合わないことがあります。
❍ 近距離での撮影は、液晶モニタをファインダーとして使用することをおすすめします。撮影する絵がモニタに表示されますので、撮影が容易にできます。

撮影距離

マクロモード	0.2 m ～ 0.8 m (P.34参照)
通常モード	0.8 m ～ ∞

フォーカスロック

ピントを合わせたいものがオートフォーカスマークから外れる場合は、以下の操作(フォーカスロック)をします。

ファインダー

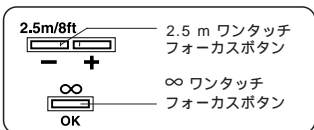
オートフォーカスマーク

1 写したいものにオートフォーカスマークを合わせ、シャッターボタンを軽く押してピントを合わせます。

❍ フォーカスロックされると、ファインダー横の緑ランプが点灯します。

2 シャッターボタンを軽く押したまま写したい構図に変えて押し切ります。

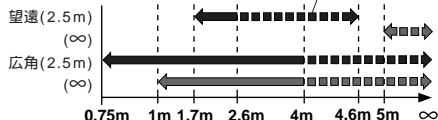
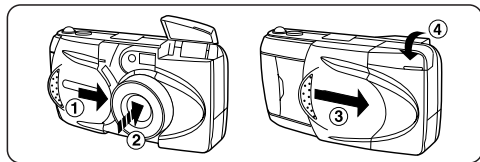
ワンタッチフォーカス

被写体との距離に応じて2.5m、∞(無限遠)の撮影距離がワンタッチで選択できます。ピントの合いにくい被写体の時などに便利です。

1 被写体距離を確認し、2.5mまたは∞(無限遠)のワンタッチフォーカスボタンを押しながらシャッターボタンを半押しします。

❍ この時に選択した距離にピントが固定され、緑ランプが点灯します。

❍ シャッターボタンを半押しする前にワンタッチフォーカスボタンを放すと、ワンタッチフォーカスにはなりません。

2 シャッターボタンを押し切ります。

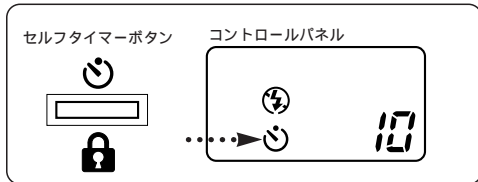
❍ フラッシュ使用時は、フラッシュ撮影範囲内で撮影してください。

電源を切ります

1 バリアを軽く閉じます。
2 レンズが中に入るまで待ちます。
❍ この時、バリアをレンズに強く押し当てないでください。
3 バリアを閉じるとコントロールパネルの表示が消え、電源は切れます。
4 フラッシュを閉じます。

☞

- ◆ **電源を切ったり、電池の交換を行っても、撮影した画像は保存されます。**
- ◆ **電池を使用して電池の寿命末期に撮影した場合、撮影後またはバリアを開いたときに「ピピッ　ピピッ　ピピッ」と連続して警告音が鳴り、コントロールパネルのコマ番号が点滅することがあります。このような場合は撮影が正常に行なわれておりません。新しい電池に交換のうえ再度撮影を行なってください。**

⏲ セルフタイマー

セルフタイマーボタン　コントロールパネル

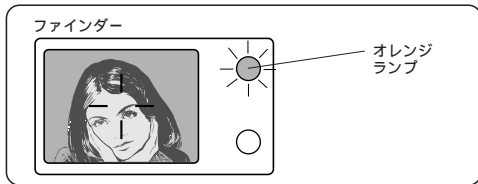
10

1 カメラを三脚などにしっかりと固定してからセルフタイマーボタンを押し、セルフタイマーマークを表示させます。
2 シャッターボタンを軽く押して、ピントを合わせます。
3 シャッターボタンを押しきります。
❍ カメラ本体前面のセルフタイマーシグナルが10秒間点灯し、2秒間点滅した後にシャッターが切れます。

☞

- ◆ **撮影後は、セルフタイマーモードは解除されます。**
- ◆ **作動中のセルフタイマーを途中で中止したいときはセルフタイマーボタンを再度押してください。**

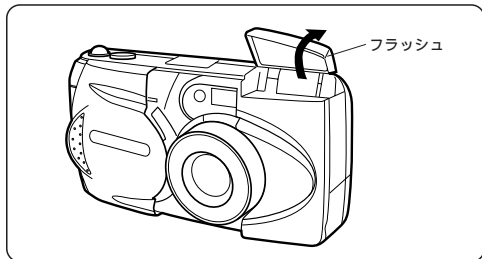
フラッシュ撮影

フラッシュの準備

フラッシュの必要な時にはファインダー横のオレンジランプが点滅します。

フラッシュ撮影可能範囲

広角時 : 約0.2 ～ 4 m

望遠時 : 約0.2 ～ 2.6 m

◆ マクロモードでのフラッシュ撮影は、明暗部分がでやすくなるのでご注意ください。(P.34参照)

1 フラッシュを使うとき、またフラッシュモードを切り替えるときは、フラッシュを上げてください。

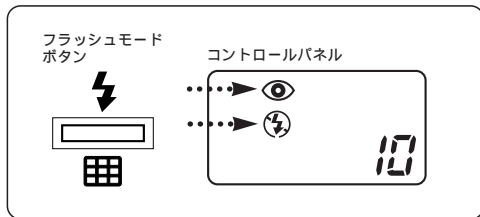
❍ シャッターボタンを軽く押したとき、ファインダー横のオレンジランプが点灯していればフラッシュが発光します。

◆ オレンジランプが点滅している時はフラッシュ充電中のため、シャッターが切れません。数秒待ってから撮影してください。

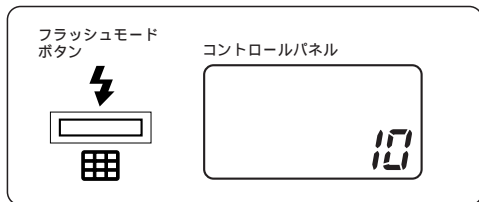
モードの切り替え方

このカメラには3つのフラッシュモードがあります。撮影状況・目的に合わせてお使いください。

フラッシュモードボタンを押すごとに、右の順に切り替わります。

❍ フラッシュを閉じると発光禁止 ⊘ になります。

フラッシュモードはコントロールパネルに表示されます。

モード	機能・目的
オート発光(表示なし)	暗い時や逆光の時、自動的に発光します。（P.31）
赤目軽減発光	目が赤く写ってしまう現象を軽減します。（P.31）
強制発光	必ず発光させたい時に。（P.32）

オート発光

暗い時や逆光の時、フラッシュが自動的に発光します。

逆光自動補正マーク

逆光の被写体を撮影するときは、被写体を逆光自動補正マークに合わせて撮影してください。

赤目軽減発光

目が赤く写る現象を軽減します。

本発光の前に10数回予備発光を行い、目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。予備発光をする以外はオート発光と同じです。

- **◆シャッターが切れるまで約1秒かかりますので、カメラをしっかり構えてください。**
- **◆以下の場合は、赤目軽減の効果が現れにくくなります。**
  - **●フラッシュを正面から見ていない場合**
  - **●予備発光を見ていない場合**
  - **●被写体までの距離が遠い場合**
  - **●個人差による場合**

⚡ 強制発光

必ず発光させたいときに。

強制発光はフラッシュを常に発光させるモードです。木かげなどで顔にかかった陰をやわらげるときや、逆光、蛍光灯などの人工照明下での撮影のときなどに使います。

❍ いったんレンズバリアを閉じると、強制発光はオート発光に戻ります。

☞

◆フラッシュ撮影可能範囲(P.29)内で撮影してください。かなり明るい状況下では効果があらわれにくくなります。

発光禁止

暗いところでも発光させたくない時に。

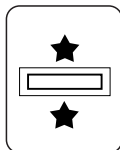
このモードでは暗くてもフラッシュは光りません。フラッシュを使えない美術館や夕景、夜景などで撮影するときに使います。

❍ フラッシュを閉じてください。

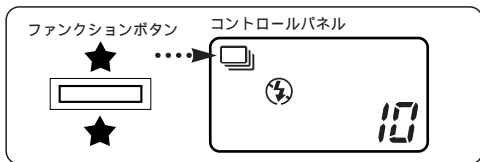
☞

◆シャッタースピードが最長1/2秒まで延長されますので、カメラぶれを防ぐため三脚のご使用をおすすめします。動く被写体はぶれて写ります。

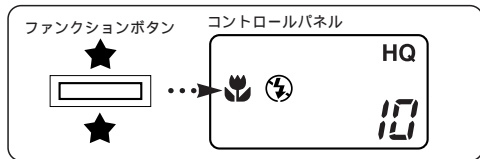
撮影機能

★ ファンクションモードの設定

撮影モード(バリアを開けた状態)でファンクションボタンを押すたびに標準撮影、連写、マクロ撮影、2Xデジタルテレモード、カード機能の切り替えができます。カード機能ではパノラマ撮影の他、別売の機能付スマートメディアを使っていろいろな機能がご利用いただけます。(詳しくは機能付スマートメディアの取扱説明書をお読みください。)

モード	機能・目的
標準撮影	標準撮影時に使います。
連写モード	最大6～10ショットを連写します。(P.33)
マクロモード	接写の時に使います。(P.34)
2Xデジタルテレモード	2倍の大きさに写せます。(P.34)
カード機能	パノラマモード(P.35)及び機能付スマートメディア使用時に。

連写モード

連写モードでは、約2コマ／秒で最大6～10コマ(画像ファイルの大きさにより変化します)の連続撮影ができます。

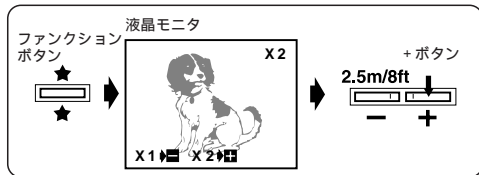
- ❍ 連写モードではフラッシュ撮影はできません。
- ❍ 標準画質モードでのみご使用いただけます。(自動的に標準画質モードに設定されます。)
- ❍ 連写モードでのシャッタースピードはカメラぶれを抑えるため最長1／30秒に設定されております。このため、暗い被写体では通常より暗く写る場合があります。
- ❍ 撮影後、画像の記録に最長10秒かかります。

マクロモード

近くにあるものを撮影するときはマクロモードを使います。名刺サイズをフレームいっぱいに撮ることができます。

❍ 液晶モニタが自動的にONになります。(P.25参照)
❍ 液晶モニタON/OFFボタンを押すとモードが解除されます。

撮影距離　約0.2m〜0.8m

◆ **フラッシュ撮影時には明暗部分が出やすくなるのでご注意ください。特に0.2m付近では実用的ではありませんのでフラッシュは使用しないでください。**

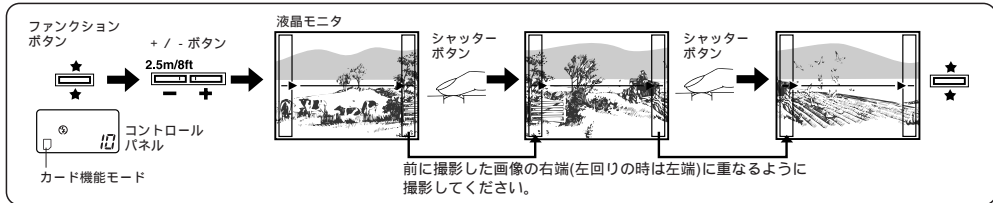
2Xデジタルテレモード

2Xデジタルテレモードでは、2倍の望遠で撮影ができます。光学3倍ズームと組み合わせると、6倍ズーム相当の撮影が可能です。

+ボタンを押すと、2倍の望遠に切り替わります。

−ボタンで標準に戻ります。

❍ 液晶モニタが自動的にONになります。(P.25参照)
❍ 標準画質モードでのみご使用いただけます。(自動的に標準画質モードに設定されます。)
❍ 液晶モニタON/OFFボタンを押すとモードが解除され、標準撮影に戻ります。

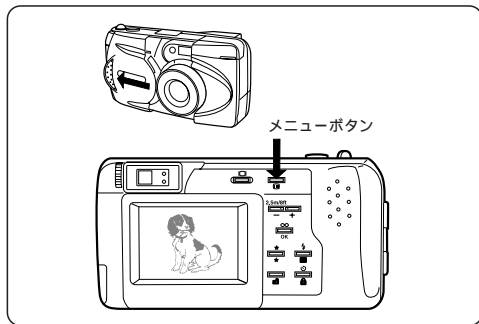
パノラマモード

オリンパスの標準スマートメディア(カード)にはパノラマモードが付いており、パノラマ撮影が簡単に楽しめます。

被写体の端が重なるようにして撮影した何枚かの画像をパソコン接続キットC-5KP(別売)のユーティリティソフトでつなぎ合わせ、1枚のパノラマ合成画像を作成します。

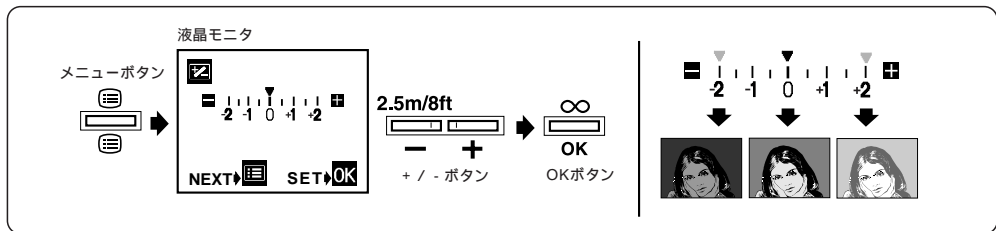
1 ファンクションボタンを押してカード機能モードを選択します。
❍ 液晶モニタが自動的にONになります。(P.25参照)
2 +／−ボタンでつなげる方向を上下左右4方向に指定できます。
❍ モニタ画面に表示が出ます。
3 被写体の端が重なるようにして撮影します。
❍ 1枚目を撮影した後はズーム操作をしないでください。つなぎ合わせができなくなります。
4 終了したい時は再びファンクションボタンを押してください。
❍ 最大10枚までのパノラマ撮影が可能です。

◆ 標準カード以外のカードでは、パノラマモードは使えません。
◆ パノラマ合成はカメラ本体ではできません。パノラマ合成画像を作成する場合はパソコン接続キットC-5KP(別売)のユーティリティソフトをご使用ください。
◆ ピント・露出・ホワイトバランスとも1枚目で決定されます。1枚目に太陽を入れた撮影などをしないでください。
◆ 高画質モードで多量のパノラマ撮影を行うとパソコンのメモリ不足になることがありますので、標準画質モードでの撮影をおすすめします。
◆ パノラマモードではフラッシュ撮影はできません。

撮影時の細かな設定をしましょう

メニューモードの切り替え

撮影モード(バリアを開けた状態)でメニューボタンを押すたびに、設定モードが切り替わります。

モード	機能・目的
標準撮影	標準撮影時に使います。
露出補正	＋／－2段の補正が可能です。(P.37)
スポットモード	写したいものにピントと露出を合わせます。(P.38)
画質モードの選択	SQ/HQ/SHQ/非圧縮SHQを設定。(P.39)
プリセットホワイトバランス	昼光/曇天/白熱灯/蛍光灯に対応。(P.40)
ビープ音の設定	ビープ音のON/OFFを設定。(P.41)

露出補正

自分で露出を調整できます。

露出は撮影時に自動的にセットされますが、＋/－2段の補正が可能です。

白の多い被写体には＋の、黒の多い被写体には－の補正を入れると効果的です。

1. 撮影モードでメニューボタンを押すと、上の図のような露出補正設定画面が表示されます。
2. ＋/－ボタンを押して補正値を選択し、OKボタンを押すと設定され撮影モードに戻ります。

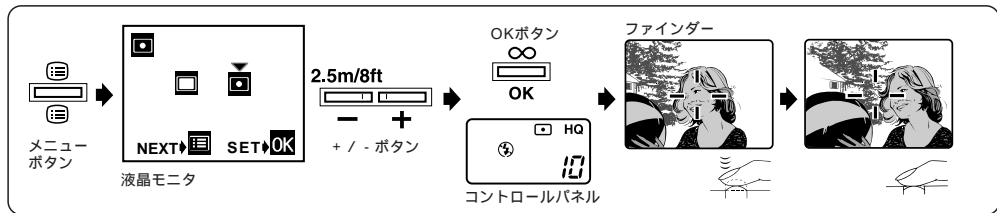
❍ メニューボタンを押すと設定されずに次の設定モードになります。

❍ 0以外の設定をすると、コントロールパネルに露出補正マークが表示されます。

❍ レンズバリアを閉じると露出補正は解除されます。

◆ 露出補正をすると液晶モニタの明るさも変わりますが、うす暗い被写体では変化しにくくなります。その時は撮影画像を再生してご確認ください。

◆ フラッシュ撮影時は狙いどおりの補正ができない場合があります。

スポットモード

写したいものに確実にピントと露出を合わせたい時に使います。

1 撮影モードでメニューボタンを押していくと、上の図のような測光モード設定画面が表示されます。

2 ＋/－ボタンを押してデジタルESP測光 からスポットモード を選択し、OKボタンを押すと設定され撮影モードに戻ります。

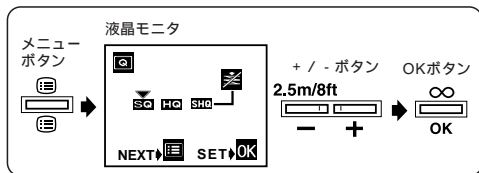
❍ コントロールパネルにスポットマークが表示されます。

❍ メニューボタンを押すと設定されずに次の設定モードになります。

3 写したいものにオートフォーカスマークの中央部を合わせ、シャッターボタンを軽く押します。

❍ 緑ランプが点灯しオートフォーカスマーク中央部にピントと露出が固定されます。

4 シャッターボタンを軽く押したまま写したい構図に変えて押し切ります。

❍ レンズバリアを閉じるとスポットモードは解除されます。

画質モードの選択

標準画質モード、高画質モードのHQ／SHQ及び非圧縮SHQに順次画質を切り替えることができます。

1 撮影モードでメニューボタンを押していくと、上の図のような画質モード選択画面が表示されます。
2 +/−ボタンを押して画質モードを選択し、OKボタンを押すと設定され撮影モードに戻ります。
- メニューボタンを押すと設定されずに次の設定モードになります。
- 非圧縮SHQに設定するには、SHQのところで+ボタンを約2秒間押します。
- HQとSHQの記録画素数は共に同じですが、SHQの方が圧縮率が低いため、引き伸ばしたときの画像がきれいです。また、SHQの方が記録・再生時間がやや長くなります。
- 非圧縮SHQは、画像を圧縮せずに記録するため、記録・再生時間が極端に長くなり、撮影可能枚数が少なくなりますのでご注意ください。

高画質モード　非圧縮SHQ
（コントロールパネルにSHQが点滅します。）

記録画素数　1280 X 960ピクセル

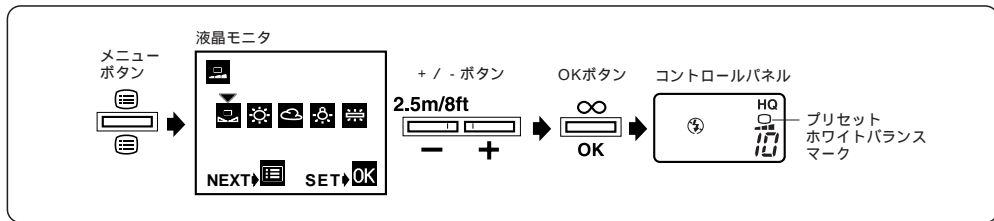
高画質モード　HQ/SHQ
（コントロールパネルにHQもしくはSHQと表示されます。）

記録画素数　1280 X 960ピクセル

標準画質モード　SQ
（コントロールパネルには何も表示されません。）

記録画素数　640 X 480ピクセル

◆画質の設定によって撮影可能枚数が変わります。(P.20参照)

ホワイトバランス

オートでホワイトバランスが合わない時には、状況に合わせて昼光/曇天/白熱灯/蛍光灯のいずれかに設定してください。

1 撮影モードでメニューボタンを押していくと、上の図のようなホワイトバランス設定画面が表示されます。

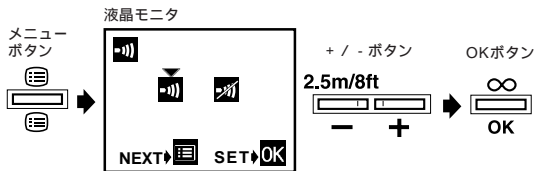
2 ＋/－ボタンを押してホワイトバランスを選択し、OKボタンを押すと設定され撮影モードに戻ります。

❍ メニューボタンを押すと設定されずに次の設定モードになります。

❍ オート以外の設定をすると、コントロールパネルにプリセットホワイトバランスマークが表示されます。

❍ レンズバリアを閉じるとオートに戻ります。

◆通常はオートに設定してお使いください。
◆特殊な光源下では対応できない場合があります。

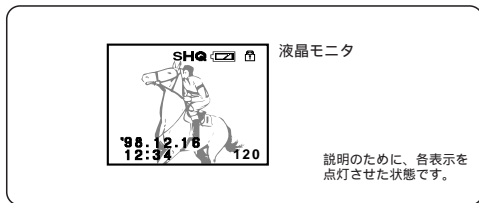
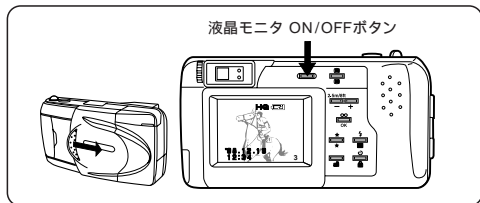
ビープ音の設定

1 撮影モードでメニューボタンを押していくと、上の図のようなビープ音設定画面が表示されます。

2 ＋/ーボタンを押してビープ音ONかOFFを選択し、OKボタンを押すと設定され撮影モードに戻ります。

❍ メニューボタンを押すと設定されずに撮影モードに戻ります。

液晶モニタで再生してみましょう

液晶モニタの電源を入れます

※ 説明のために、各表示を点灯させた状態です。

1 レンズバリアを閉じた状態で、液晶モニタON/OFFボタンを押して液晶モニタの電源を入れます。

❍ 電源を入れると、カメラが自動的にカードチェックを行います。カードが入っていない時は、コントロールパネルにカード警告マークが点滅します。フォーマットが異なるカードが入っている時は、自動的に初期化モードに入ります。（P.54参照）

❍ 撮影された最新の画像が表示されます。

❍ 液晶モニタには画像の他に、コマ番号、電池残量マークが表示されます。また設定を行っている場合は、プロテクト、高画質モード、日時も同様に表示されます。

❍ 一枚も撮影されてない場合はブルーバックになります。

❍ 高画質モードマーク、電池残量マーク、日時、コマ番号は3秒たつと消灯します。電池残量が残り少ない場合、液晶モニタに電池残量警告のマークが点滅します。

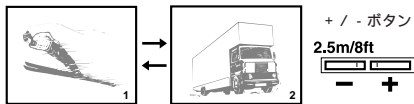
❍ プロテクトマークを消すには、その画像のプロテクトを解除してください。（P.46参照）

◆電源を入れた後に液晶モニタが一瞬光り、0.5〜2秒程してから画像が表示されるのは故障ではありません。

確認再生

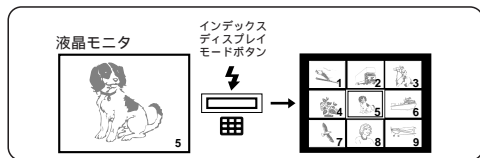
撮影した内容をすぐに見たいときに使用します。

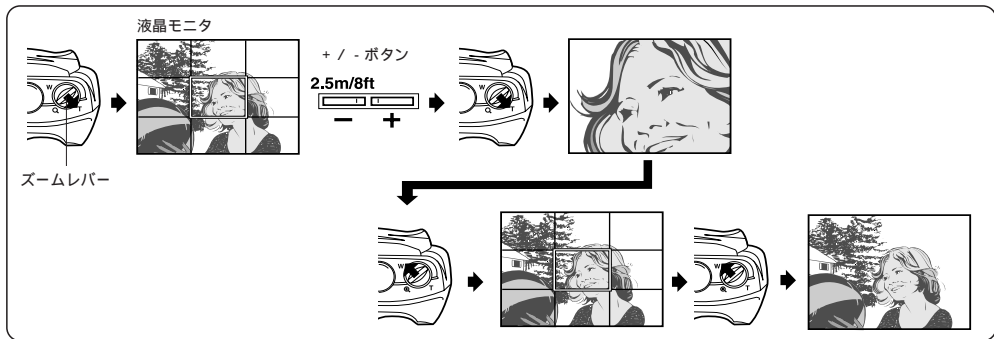
1 レンズバリアを開いた状態で液晶モニタON/OFFボタンをすばやく2回押すと再生モードになります。再度、液晶モニタON/OFFボタンを押すかシャッターボタンを軽く押すと撮影モードに戻ります。

コマ再生

1 モニタ画面を表示させます。

2 −ボタンを押すと、ひとつ前の画像を見ることができます。−ボタンを押すたびに逆送りをすることができます。

3 +ボタンを押すと次の画像を見ることができます。+ボタンを押すたびに、後ろに順送りをすることができます。

インデックスディスプレイモード

1 モニタ画面を表示させます。
2 インデックスディスプレイモードボタンを押すと、表示中の画像を含む複数の画像が表示されます。
3 −ボタンを押すごとに画像選択のワクがコマ番号の少ないほうに順次移動します。
❍ +ボタンは反対に進みます。
4 画像選択ワクが画面左上に到達後、ひとつ前の画像を含む複数の画像が表示されます。(コマを送っている場合は画面右下に到達後、次の画像を含む複数の画像が表示されます。)
5 もう一度インデックスディスプレイモードボタンを押すと選択されている画像が1コマ再生されます。
❍ 再生に2秒程時間がかかります。

◆ **表示コマ数は4、9、16コマの中から選べます。(P.55参照)**

クローズアップ再生

1 モニタ画面を表示させた状態でズームレバーを**T**側に引くと、上の図のようなクローズアップ再生設定画面になります。

2 +/ーボタンを押して拡大表示させたい部分に枠を移動します。

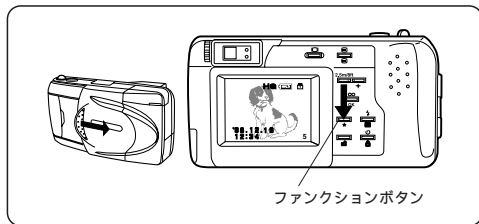
3 ズームレバーを再び**T**側に引くと枠内の画像がクローズアップ再生されます。

❍ ズームレバーを**W**側に押すと、クローズアップ再生設定画面に戻ります。

❍ ズームレバーを再度**W**側に押すと、通常再生に戻ります。

◆ **クローズアップ再生画面のダイレクトプリントも可能です。(P.57参照)**

再生／印刷機能

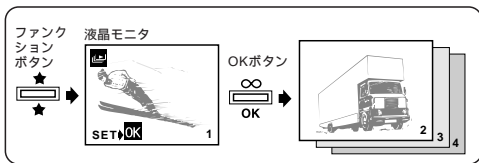
★ファンクションモードの設定

ファンクションボタン

モニタ画面を表示させた状態でファンクションボタンを押すたびに標準再生、自動再生、カード予約、予約プリント／全コマプリント、4分割マルチプリント、16分割シールペーパープリント、転写プリント、カード機能の切り替えができます。カード機能では別売の機能付スマートメディアを使って合成テンプレート画像、カレンダー画像、手書きタイトル画像の作成及びそのダイレクトプリントが可能です。（詳しくは機能付スマートメディアの取扱説明書をお読みください。）

モード	機能・目的
標準再生	画像を静止表示します。
自動再生	画像を順送りして見られます。(P.46)
カード予約	ダイレクトプリントしたい画像を選択し、カードから印刷。(P.62)＊
予約プリント／全コマプリント	選択した画像をダイレクトプリント。(P.58)＊＊
4分割マルチプリント	4分割ダイレクトプリント。(P.59)＊＊＊
16分割シールペーパープリント	16分割ダイレクトプリント。(P.60)＊＊＊
転写プリント	左右反転ダイレクトプリント。(P.60)＊＊＊
カード機能	機能付スマートメディア使用時に。

＊　別売の専用プリンタP-330で印刷できます。
＊＊　別売の専用プリンタP-300接続時に表示されます。
＊＊＊別売の専用プリンタP-300かP-150が必要です。

自動再生モード

撮った画像を自動的に順送りして見ることができます。

1 モニタ画面を表示させます。

2 ファンクションボタンを押して自動再生モードを選択し、OKボタンを押すと自動的に順送りが始まります。

3 もう一度ファンクションボタンを押すと表示されている画像で停止します。

❍ 自動再生は一巡しても止まりません。ファンクションボタンを押して終了させてください。(ACアダプタを接続していない場合は、30分程で自動的に電源が切れます。)

❍ インデックスディスプレイモード(P.43)でも自動再生が可能です。

プロテクト

残しておきたい画像にプロテクト(消去禁止)をかけます。

1 液晶モニタに残しておきたい画像を表示させます。

2 プロテクトボタンを押し、その画像にプロテクト(消去禁止)をかけます。

❍ プロテクトマークが画面右上に表示されます。

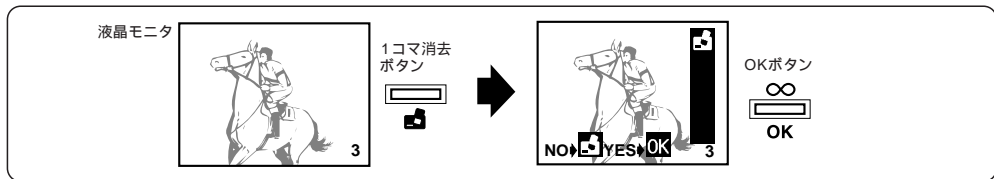
3 プロテクトを解除するには、再度プロテクトボタンを押します。

❍ プロテクトされた画像は全コマ消去しても消されることはありませんが、初期化すると消滅します。

❍ インデックスディスプレイモード(P.43)でもプロテクトの設定、解除ができます。

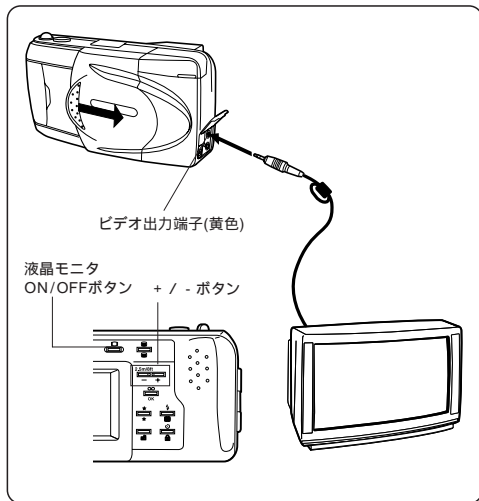
◆ ライトプロテクトシールの貼ってあるカードにはプロテクト操作は一切できません。

画像の1コマ消去

消したい画像を消去します。
消したい画像にプロテクトがかかっている場合及びカードにライトプロテクトシールが貼ってある場合は、消去モードには入りません。消去するにはプロテクトを解除するかライトプロテクトシールをはがしてから操作を行ってください。（ライトプロテクトシールは再使用しないでください。）

1 液晶モニタに消したい画像を表示させます。
2 1コマ消去ボタンを押すと、1コマ消去マークが画面の右上に点灯します。
❍ ここでもう一度1コマ消去ボタンを押すと、1コマ消去モードを中止することができます。
3 OKボタンを押します。
❍ 「ピッ」という音がして画像が消去されます。
❍ インデックスディスプレイモード(P.43)でも1コマ消去できます。
❍ 画像の全コマ消去はP.50をご覧ください。

⚠ 注意

◆消去中にカードカバーを開けたり、ACアダプタ／電池やカードを抜くと、カード内のデータが破壊される恐れがありますので十分ご注意ください。

テレビとの接続のしかた

同梱のビデオケーブルでテレビに接続すると、パソコンがなくても大きな画面で画像を確認できます。

接続の前に、テレビとカメラの電源がOFFで、カメラのレンズバリアが閉じていることを確認してください。

1 ビデオケーブルをカメラのビデオ出力端子とテレビの入力端子に差し込んでつなげます。

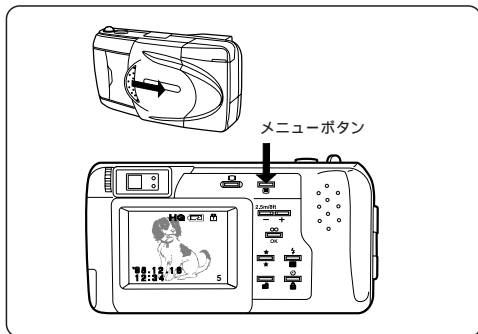
2 テレビの電源を入れます。

3 カメラの液晶モニタON/OFFボタンを押して電源を入れます。

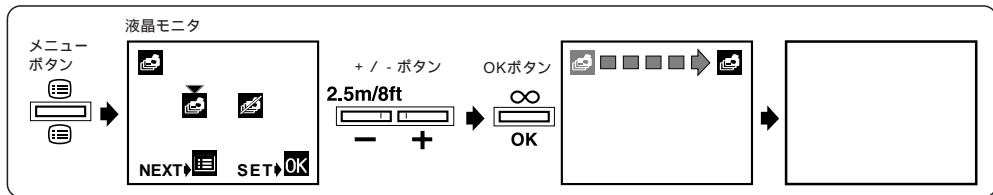
4 ＋／－ボタンで画像を選択します。

- **◆ テレビに接続すると液晶モニタは消灯します。**
- **◆ テレビの調整により、画像が画面中央からずれることがありますが、故障ではありません。**
- **◆ ご使用のテレビによっては画像の外側に黒枠が表示されることがあります。このような状態でテレビからビデオプリンタに出力すると黒枠が目立つことがあります。**
- **◆ ACアダプタ(別売)の使用をおすすめします。**

再生時の細かな設定をしましょう

メニューモードの切り替え

モニタ画面を表示させた状態でメニューボタンを押すたびに、メニューモードが切り替わります。

モード	機能・目的
標準再生	画像を静止表示します。
画像の全コマ消去	カード内の全画像を消去したい時に。(P.50)
ファイル番号表示	画像のファイル番号を表示させたい時に。(P.51)
日付プリントの設定	日付をプリントしたい時に。(P.52)
日時の設定	日付・時刻の設定。(P.53)
カードの初期化	カードを初期化する時に。(P.54)
インデックスディスプレイの設定	インデックスディスプレイモードでの表示コマ数設定。(P.55)
液晶モニタ調節	液晶モニタの明るさを調節する時に。(P.55)

画像の全コマ消去

1 モニタ画面を表示させた状態でメニューボタンを押すと、上の図のような全コマ消去画面が表示されます。

2 ーボタンを押して全コマ消去 を選択します。

❍ 中止したい時は、液晶モニタON/OFFボタンまたはメニューボタンを押します。

3 OKボタンを押します。

❍ 「ピッ」と音がして全コマ消去マークが画面の右側へ移動していきます。

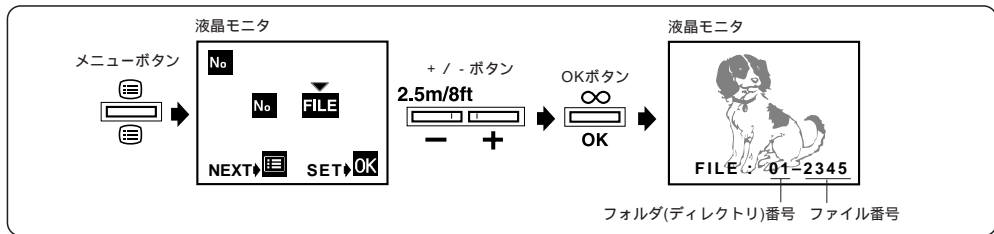
❍ カード内の画像が全部消去されると、液晶モニタはブルーバック(青画面)状態になります。

❍ プロテクトのかかっているコマがあればそのコマは残り、全コマ消去後画面に表示されます。

❍ インデックスディスプレイモード(P.43)でも全コマ消去ができます。

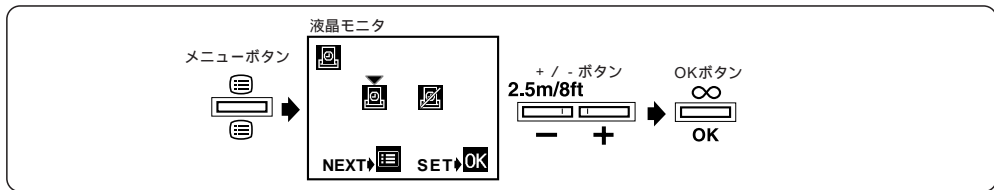
⚠ 注意

- ◆ **誤って大切なデータを消してしまうことのないよう、十分ご注意ください。**
- ◆ **消去中にカードカバーを開けたり、ACアダプタ／電池やカードを抜くと、カード内のデータが破壊される恐れがありますので十分ご注意ください。**

No. ファイル番号表示

1 モニタ画面を表示させた状態でメニューボタンを押していくと、上の図のようなファイル番号表示設定画面になります。

2 +/ーボタンを押してコマNo.表示 No. かファイル番号表示 FILE かを選択し、OKボタンを押すと設定され再生モードに戻ります。

❍ 電源を切るとコマNo.表示に戻ります。

- **◆ ファイル番号を表示している時は、コマNo.、日時は表示されません。**
- **◆ ファイル番号表示に設定しても、インデックスディスプレイモードではコマNo.表示になります。**

日付プリントの設定

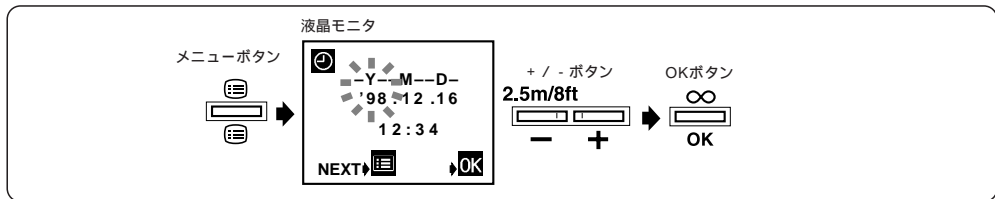
1 モニタ画面を表示させた状態でメニューボタンを押していくと、上の図のような日付プリント設定画面が表示されます。

2 +/ーボタンを押して、専用プリンタP-300/P-150でダイレクトプリントの際に日付を入れるか入れないかを選択し、OKボタンを押すと設定され再生モードに戻ります。

❍ メニューボタンを押すと日付プリントの設定はされずに日時設定画面になります。

❍ 液晶モニタON/OFFボタンを押すと設定されずに画面が消えます。

◆専用プリンタP-330でのダイレクトプリントの際には、プリンタで日付プリントの設定を行ってください。カメラでの日付プリントの設定はダイレクトプリントに反映されません。

日時の設定

1 モニタ画面を表示させた状態でメニューボタンを押していくと、上の図のような日時設定画面が表示されます。

2 +/ーボタンを押し、年(Y) 月(M) 日(D)の表示順を選択してOKボタンを押します。

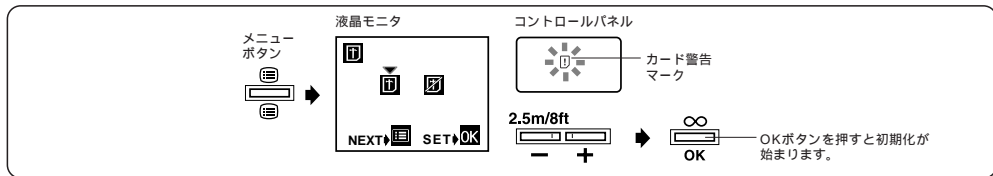
3 +/ーボタンを押して年から順に点滅する数字を設定し、OKボタンを押して行きます。最後に分まで設定し、OKボタンを押すと日時が設定され再生モードに戻ります。

❍ 途中でメニューボタンを押すと、日時の設定はされずにカードの初期化画面になります。

❍ 途中で液晶モニタON/OFFボタンを押すと、設定されずに画面が消えます。

◆電池を抜いた状態で約1時間放置すると設定した日付は解除されます(当社試験条件による)。この場合は再度設定を行ってください。

◆大切な撮影の前には、日付・時刻を確認されることをおすすめします。

カードの初期化

初期化とは

カード内のデータを使用機器で書き込みできるフォーマットに変えることです。

❍ オリンパスのカードは初期化済みです。

❍ オリンパス製カードのご使用をおすすめします。

初期化のしかた

1 モニタ画面を表示させた状態でメニューボタンを押していくと、上の図のようなカード初期化画面が表示されます。

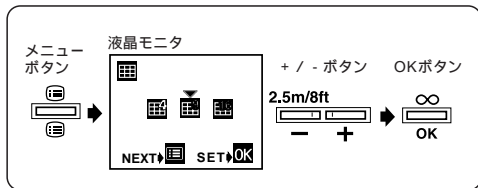
❍ 初期化が必要なカードを入れた場合は、コントロールパネルにカード警告マークが点灯し、自動的に初期化モードに入ります。

2 ーボタンを押してカード初期化 を選択します。

3 OKボタンを押すと初期化が始まります。（カード警告マークが点滅します。）液晶モニタON／OFFボタンを押すとキャンセルされます。

4 初期化が終了するとカード警告マークが消灯し、ブルーバック(青画面)になります。

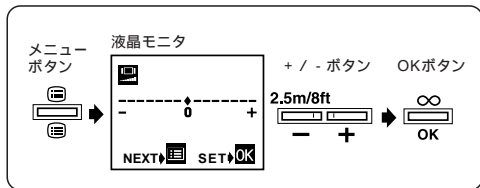
- ◆ **初期化すると既存のデータ(カメラでプロテクトをかけた画像も)は消滅します。使用済みカードを初期化する時には、大切なデータを消さない様にご確認ください。**
- ◆ **オリンパス製以外のカード及びパソコンで初期化あるいは使用したカードは、書き込み時間が長くなることがあります。このようなときはカメラで再度初期化を行うことをおすすめします。**
- ◆ **カードにライトプロテクトシールが貼ってある場合は、初期化を受け付けません。**

インデックスディスプレイの設定

インデックスディスプレイモードでの表示コマ数を設定します。

1 モニタ画面を表示させた状態でメニューボタンを押していくと、上の図のようなインデックスディスプレイ設定画面が表示されます。

2 ＋/ーボタンを押して4分割、9分割、16分割のどれかを選択し、OKボタンを押すと設定され再生モードに戻ります。

◆**16分割インデックスディスプレイ時には、コマNo.は表示されません。**

液晶モニタ調節

液晶モニタの明るさを調節できます。

1 モニタ画面を表示させた状態でメニューボタンを押していくと、上の図のような液晶モニタ調節画面が表示されます。

2 ＋/ーボタンを押して明るさを選択し、OKボタンを押すと設定され再生モードに戻ります。

❍ +で明るく、ーで暗くなります。

印刷してみましょう

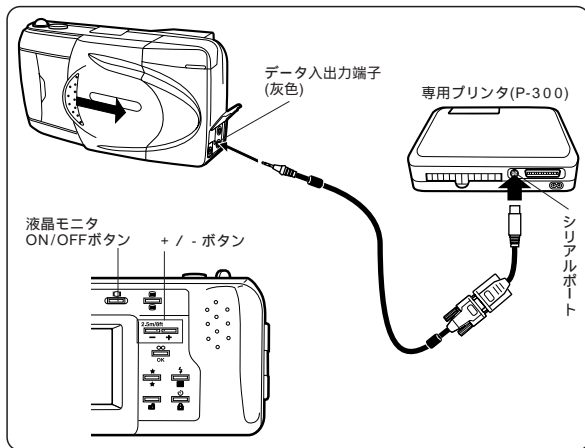
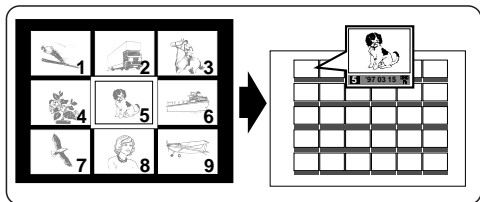
カメラからの印刷 (専用プリンタ P-300／P-150)

専用プリンタP-300／P-150と接続して、ダイレクトプリントが可能です。

接続の前に、プリンタとカメラの電源がOFFで、カメラのレンズバリアが閉じていることを確認してください。

1 デジタルカメラと別売の専用プリンタ(P-300／P-150)を専用ケーブルで接続し、プリンタの電源を入れます。
❍ 専用ケーブルはパソコン接続キットに同梱されているDOS/V用パソコン接続ケーブルとMAC用変換コネクターを接続してご使用ください。(P.65参照)
2 カメラのコントロールパネルが消灯してから液晶モニタON/OFFボタンを押して電源を入れます。
3 ＋／－ボタンでプリントしたい画像を選択します。
4 プリンタで印刷部数を設定し(P-300のみ)、ダイレクトプリントボタンを押すとプリントが始まります。
❍ 印刷中は一切の操作を受け付けません。

☞

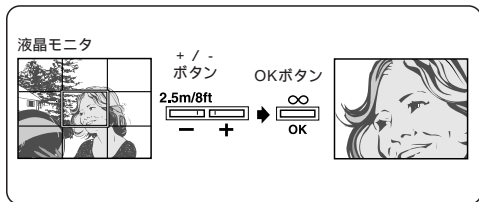
- **印刷中は液晶モニタ画面は消灯します。**
- **日付を入れることも可能です。(P.52参照)**
- **ACアダプタ(別売)の使用をおすすめします。**
- **非圧縮SHQモードで撮影した画像は印刷できません。**
- **専用ケーブルのみ御用命の方は、カスタマーサポートセンターもしくはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。(裏表紙参照)**

インデックスプリント

専用プリンタP-300／P-150と接続して30コマのインデックスプリントが作れます。

1 インデックスディスプレイ画面を表示させます。(P.43参照)

2 表示画面のワクで囲まれたコマから数えて30コマが1シートに印刷されます。

3 プリンタで印刷部数を設定し(P-300のみ)、ダイレクトプリントボタンを押すとプリントが始まります。

❍ 印刷後、画面上のワクは30コマ先に移動します。
❍ プリンタとの接続方法はP.56をご覧ください。
❍ 日付は常に印刷されます。

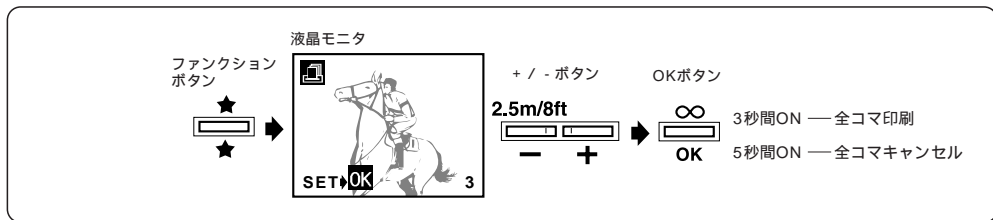
クローズアッププリント

専用プリンタP-300／P-150と接続してクローズアッププリントが作れます。

1 クローズアップ再生します。(P.44参照)

2 プリンタで印刷部数を設定し(P-300のみ)、ダイレクトプリントボタンを押すとプリントが始まります。

❍ プリンタとの接続方法はP.56をご覧ください。

◆ 精細なクローズアッププリントを行うためには、高画質モード(SHQまたはHQ)での撮影をおすすめします。

予約プリント／全コマプリント

予め選択した画像をダイレクトプリントします(P-300接続時に使えます)。

1 P-300プリンタと接続し、電源を入れ、モニタ画面を表示させた状態でファンクションボタンを押して予約プリントを選択します。

2 ＋／－ボタンでコマを送り、OKボタンで印刷したい画像を選択していきます。

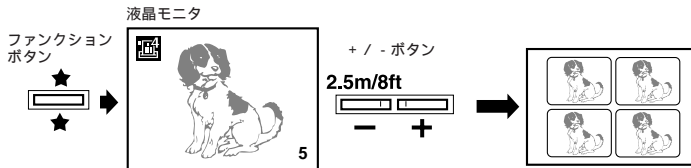
❍ OKボタンを3秒間押し続けると「ピッ」という音がして全コマプリントになります。そのまま更に2秒間押し続けるとまた「ピッ」という音がして全コマキャンセルになります。

3 プリンタで印刷部数を設定し、ダイレクトプリントボタンを押すとプリントが始まります。

❍ プリンタとの接続方法はP.56をご覧ください。

☞

◆印刷実行後も選択データは記憶されています。
◆ファンクションボタンを押して予約プリントモードを解除したり、モニタON/OFFボタンを押して電源を切ると選択データは消去されます。
◆ACアダプタ(別売)の使用をおすすめします。

4分割マルチプリント

専用プリンタP-300／P-150と接続して4分割プリントが作れます。

ペーパーは、プリンタにより下記のものをご使用ください。

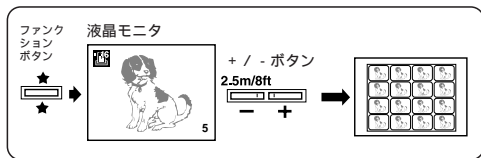
P-300.............**P-60NS4 (4分割シールペーパー)**
P-150.............**P-50P (スタンダードペーパー*)**

＊お好みの大きさに切ってお使いください。

1 再生モードでファンクションボタンを押して、4分割マルチプリントを選択します。
2 ＋／ーボタンで4分割プリントしたい画像を選択します。
3 プリンタで印刷部数を設定し(P-300のみ)、ダイレクトプリントボタンを押すと4分割プリントが始まります。

❍ プリンタとの接続方法はP.56をご覧ください。

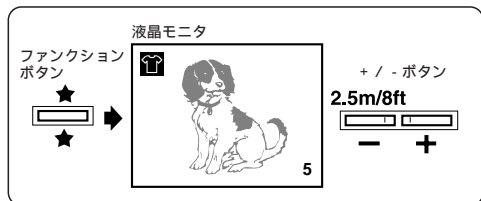
◆このモードでは、日付プリントが設定されていても日付はプリントされません。

16分割シールペーパープリント

専用プリンタP-300／P-150と接続して人気の16分割プリントが楽しめます。

1. 再生モードでファンクションボタンを押して、16分割シールペーパープリントを選択します。
2. ＋／－ボタンで16分割プリントしたい画像を選択します。
3. プリンタで印刷部数を設定し(P-300のみ)、ダイレクトプリントボタンを押すと16分割プリントが始まります。

❍ ペーパーはP-300ではP-60NS16を、P-150ではP-50S16をお使いください。
❍ プリンタとの接続方法はP.56をご覧ください。

◆ **このモードでは、日付プリントが設定されていても日付はプリントされません。**

転写プリント

専用プリンタP-300／P-150と接続して左右が逆の転写プリントがつくれます。

Tシャツプリント等に活用できます。

1. 再生モードでファンクションボタンを押して転写プリントを選択します。
2. ＋/－ボタンで転写プリントしたい画像を選択します。
3. プリンタで印刷部数を設定し(P-300のみ)、ダイレクトプリントボタンを押すとプリントが始まります。

❍ プリンタとの接続方法はP.56をご覧ください。
❍ Tシャツプリント作成には別売の布転写シートをお使いください。

スマートメディアからの印刷 (専用プリンタ P-330)

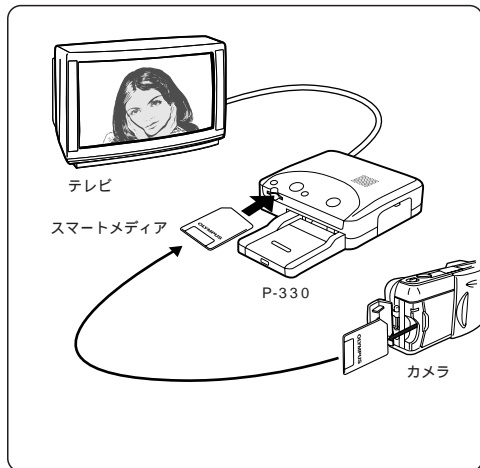
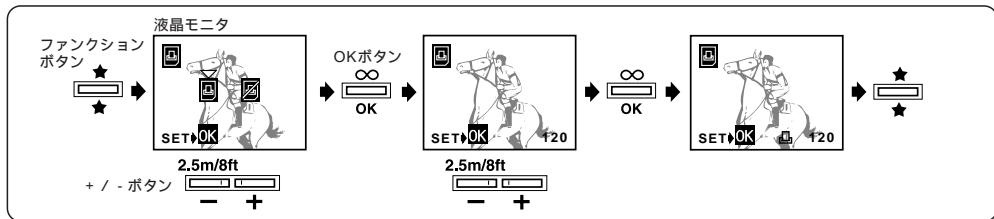
専用プリンタP-330に撮影済みのカードを直接差し込んで、ダイレクトプリントが可能です。

P-330の主な機能

1コマプリント
マルチプリント(4、9、16分割)
予約プリント
カメラ予約(カード予約)
トリミングプリント(1.5・2倍)
日付プリント
転写プリント (左右反転)
機能カード対応 (合成テンプレート機能に対応)

※ 詳しくは専用プリンタP-330の取扱説明書をお読みください。

☞

- **◆ プリントしたい画像をカメラで予め選択できます。(P.62参照)**
- **◆ デジタルカメラのデータ入出力端子にP-330を接続して印刷することはできません。**
- **◆ デジタルカメラのビデオ出力端子にP-330を接続して印刷した場合、プリンタの性能を充分に発揮することができません。**

カード予約

ダイレクトプリントしたい画像を予め選択できます(P-330で印刷できます)。

1 モニタ画面を表示させた状態でファンクションボタンを押していくと、上の図のようなカード予約画面になります。

2 ＋／ーボタンを押してカード予約 を選択し、OKボタンを押します。

❍ 予約をすべて解除するときには、カード予約解除 を選択しOKボタンを押します。

3 ＋／ーボタンでコマを送り、OKボタンで印刷したい画像を選択していきます。

4 プリンタにカードを差し込みます。(P.61参照)

5 プリンタの入力切換ボタンを押してカメラ予約を選択し、プリントします。

◆印刷実行後も選択データはカード内に記憶されています。新たに画像を選択する場合には、予約前にかならずカード予約解除を行ってください。

◆カード予約解除を行うと選択データはすべて消去されます。

画像をとりこみましょう

パソコンの使用環境

パソコン接続キットC-5KP使用の場合 (以下の条件で使用可能です。)

❍ DOS/V機(IBM PC/AT互換機)

CPU ： Windows 98：486DX、 66MHz 以上
Windows 95/NT 4.0：
486SX 以降、33MHz 以上
(Pentium 以上 推奨)
システム ： Windows 98/95/NT 4.0
ハードディスクの空き容量 ： 18MB 以上
RAM ： Windows 98/95 — 16MB 以上
Windows NT 4.0 — 24MB 以上
コネクター ： 標準RS-232Cインターフェイス
D-SUB 9ピンコネクター
モニタ ： 256色以上640×480ドット以上
推奨32000色以上

❍ Apple Macintosh

CPU ： 68040以降
システム ： 漢字Talk7.5 以上、Mac OS7.6〜8.1
ハードディスクの空き容量 ： 18MB 以上
RAM ： 24MB 以上
コネクター ： シリアルポート
ミニDin 8ピンコネクター
モニタ ： 256色以上 640×480ドット以上
推奨32000色以上

※ iMacでは使用できません。

❍ NEC PC-9821及びPC-98-NXシリーズ

システム ： Windows 98/95/NT 4.0
ハードディスクの空き容量 ： 18MB 以上
RAM ： Windows 98/95 — 16MB 以上
Windows NT 4.0 — 24MB 以上
コネクター ： 標準RS-232Cインターフェイス
(19200 bps以上の通信速度が必要)
D-SUB-25ピンコネクター
モニタ ： 256色以上640×480ドット以上
推奨32000色以上

◆ 詳しくはユーティリティソフトのオンラインマニュアルをご参照ください。

ユーティリティソフトウエアの主な機能

別売のパソコン接続キットC-5KPに同梱されているソフトウェアをパソコンにインストールすると、撮影した画像をシリアルケーブルを介してパソコンにダウンロードし、表示・加工・保存・その他いろいろな機能を楽しめます。

上記ソフトウェアには主に下記の6つの機能があります。インストール方法や操作手順については、ソフトウェアのオンラインマニュアルをご参照ください。

■ カメラとの通信

RS-232Cを介し、カメラ内画像ファイルのダウンロードを行います。また、カメラの各種設定(プロテクト設定・解除、データ消去、日付時刻の設定、その他設定変更等)もサポートしています。

■ 画像ビューワー

カメラからダウンロードした画像、ディスク上の画像ファイルのインデックス表示、単画面表示を行います。また、エクスプローラ風のフォルダ階層表示とドラッグ&ドロップによる操作で画像の管理が簡単に行えます。更にスライドショー(自動再生)もできます。

■ 一括処理

インデックスウィンドウから画像の回転、フォーマット変換、リネーム等の一括処理が可能です。

■ 加工

回転（右90度、左90度、180度、任意角度)、色数変更、リサイズ、テキスト挿入、各種フィルター処理（明るさ、コントラスト、カラーバランス、シャープネス等)が可能です。

■ カメラ連携機能

「パノラマ合成」 標準カードのパノラマモードで撮影した画像を使用して、パノラマ合成画像が作成できます。

「テンプレート合成」 別売のテンプレートカードに、カメラで合成可能なオリジナルテンプレート画像をアップロードできます。

■ 印刷

単画像印刷の他、単画像日付入り印刷、インデックス印刷、レイアウト印刷(3、4、6ショットを自動レイアウト)を行います。

パソコンとの接続のしかた

ご使用のパソコン機種によって、接続方法が異なります。

❍ DOS/V機(IBM PC/AT互換機)

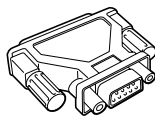
パソコン側の“ COM1、COM2 ”等と書かれたシリアルポートに、ＤＯＳ／Ｖ用パソコン接続ケーブルをそのまま接続します。

❍ NEC PC-9821

パソコン側の“ RS-232C ”と書かれたシリアルポートに98用変換コネクターを接続し、さらにＤＯＳ/Ｖ用パソコン接続ケーブルを接続します。(PC-98ノートパソコンには別のコネクターが必要です。)

❍ Apple Macintosh

パソコン側のプリンタポートもしくはモデムポートにMAC用変換コネクターを接続し、さらにＤＯＳ／Ｖ用パソコン接続ケーブルを接続します。

☞

> **◆上記ケーブルもしくは、コネクターはパソコン接続キットC-5KP(別売)に同梱されています。**
> **◆電池の消費を防ぐため、ACアダプタ(別売)の使用をおすすめします。**

ＤＯＳ／Ｖ用
パソコン接続ケーブル

98用変換コネクター

MAC用変換コネクター

カメラからパソコンに画像をとりこみます

別売のパソコン接続キットC-5KPに同梱されているユーティリティソフトウェアを使用する場合

接続の前に、パソコンとカメラの電源がOFFで、カメラのレンズバリアが閉じていることを確認してください。

1 パソコン接続ケーブルをパソコンのシリアルポートに接続します。(P.65参照)

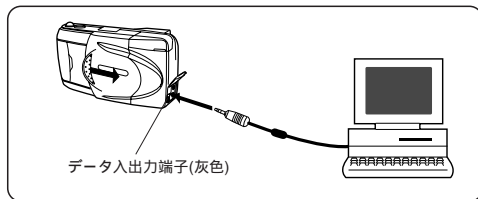
2 コネクターカバーを開けます。

3 パソコン接続ケーブルをカメラ側のデータ入出力端子(灰色)に合わせ、プラグを最後まで押し込みます。

4 パソコンの電源を入れます。

5 レンズバリアを開け電源をONにします。

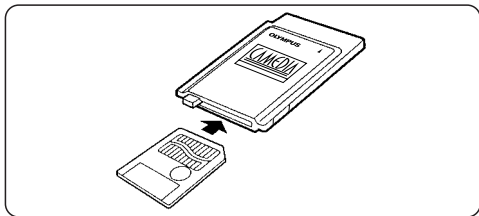
6 ユーティリティソフトを起動します。

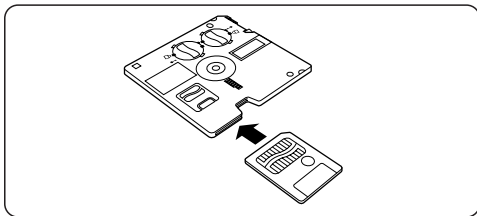
❍ 操作手順は、ユーティリティソフトのオンラインマニュアルをご参照ください。

◆カメラの電源がONの状態(レンズバリアを開いた状態及び液晶モニタでの再生状態)でパソコンと接続すると、カメラが正しく作動しない場合があります。パソコンと接続する時は、必ずカメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

◆パソコンに接続したときは、カメラのボタン類は一切動作しなくなります。

◆バリアが閉じている時、通信はできません。

スマートメディアから直接とりこむ場合

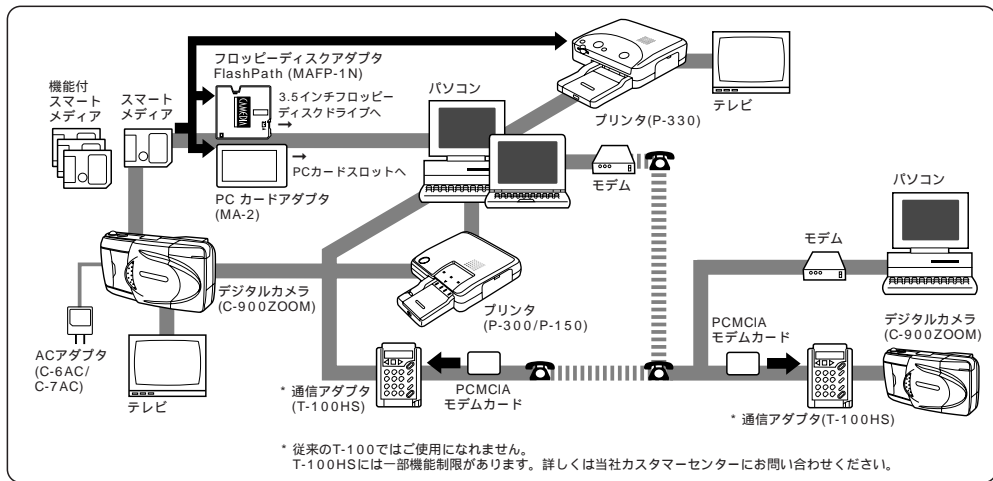
PCカードアダプタ

別売のPCカードアダプタ(MA-2)をご使用になると、スマートメディアからPCカードスロットまたは外付PCカードドライブを備えたパソコンに直接画像データをとりこむことが可能です。

フロッピーディスクアダプタFlashPath

別売のフロッピーディスクアダプタFlashPath(MAFP-1N)をご使用になると、スマートメディアから3.5インチフロッピーディスクドライブを備えたパソコンに直接画像データをとりこむことが可能です。

◆パソコンの動作環境やスマートメディアの記憶容量等により、ご使用になれない場合があります。
◆ライトプロテクト(書き込み禁止)シールの貼ってあるカードをパソコンで使用するとエラーが多発しますので、ご使用にならないでください。(詳しくは両アダプタの取扱説明書をお読みください。)

システムチャート

別売の機器とシステムを組むと、様々な用途に使用できます。

* 従来のT-100ではご使用になれません。
T-100HSには一部機能制限があります。詳しくは当社カスタマーセンターにお問い合わせください。

その他

Q & A

Q 電池はどの位もちますか。

A 100コマ以上の撮影が可能です(フラッシュ50%使用時)。但しこれは一応の目安で、液晶モニタの使用時間、フラッシュの使用頻度、電池の種類、使用環境温度等によって大きく変わります。特に液晶モニタを点灯させたままにすると、電池の消耗が激しいのでこまめに電源を切るようにしてください。別売の専用ACアダプタを使用しますと電池寿命を心配しなくてすみます。なお、本書に記載されている電池による撮影枚数は、当社試験条件、当社指定の電池による参考値です。

Q 画像データに記録される日付が正しくないのですが。

A 出荷時には日付設定されておりませんので、撮影前に日付設定をしてください。(P.53) (別売のパソコン接続キットC-5KPに同梱されているユーティリティソフトウェアを用いることでパソコンからの設定もできます。)

Q フィルターやフードは取り付けられますか。

A 取り付けられません。

Q 外付けフラッシュは使用できますか。

A 使用できません。またスレーブユニットも正常に動作しません。

Q フラッシュを使用し、人物撮影をしたら目が赤く写ってしまったのですが。

A どのカメラでもフラッシュを用いた人物撮影では目が赤く写ることがあります。これは網膜がフラッシュの光を反射するために起こる現象ですが、個人差が大きく、また周囲の明暗等の撮影条件によっても異なります。一般的には東洋人は出にくく、西洋人は出やすい傾向にあります。赤目軽減発光モードを使用することにより、発生頻度を大幅に軽減します。

Q カメラの保管はどうすれば良いのですか。

A カメラはホコリ、湿気、塩分を嫌います。よくふいて乾燥させて、保管してください。海辺で使ったあとは、真水で浸した布を硬く絞ってふき取ると良いでしょう。防虫剤の使用は避けてください。長期保管の場合は電池を抜いてください。

修理に出す前にお確かめください

操作上のトラブル

こんなときには…	原因	こうしましょう	参照ページ
カメラが動かない。	① OFF状態になっている。	❶ レンズバリアを開けて、電源をONにしてください。	P.18
	② 電池の向きが正しくない。	❷ 電池を正しく入れ直してください。	P.16
	③ 電池がない。	❸ 新しい電池を入れてください。	P.16
	④ 寒さで電池の性能が一時的に低下した。	❹ 電池をポケット等で温めてから使用してください。	
シャッターボタンを押しても撮影ができない。	① フラッシュの充電が完了していない。または、スマートメディアに書き込み中である	❶ 一度シャッターボタンから指を離し、オレンジランプまたは緑ランプの点滅が終わってから撮影してください。	P.29 P.24
	② スマートメディアの容量がいっぱいになった。	❷ スマートメディアの交換を行うか、不用なコマの消去を行うか、画像をパソコンなどに転送し画像の全コマ消去を行ってください。	P.47 P.50
	③ スマートメディアが書き込み禁止になっている、またはスマートメディアが入っていない。	❸ 新しいスマートメディアを入れてください。	P.18
フラッシュが発光しない。	① フラッシュが上っていない。	❶ フラッシュを上げてください。	P.29
	② 明るい被写体である。	❷ フラッシュを強制的に発光させたい場合は強制発光モードにしてください。	P.30

こんなときには…	原因	こうしましょう	参　照 ページ
液晶モニタ上で再生ができない。	① レンズバリアが開いたままになっている。	❶ レンズバリアを閉じて、液晶モニタON/OFFボタンを押して、電源を入れてください。	P.42
	② スマートメディアに画像が記録されていない。	❷ 撮影可能枚数をチェックしてください。	P.20
液晶モニタが見にくい。	① 液晶モニタの輝度の設定が適切でない。	❶ 液晶モニタの調節をしてください。	P.55
パソコンとつないだとき、データ転送中にエラーメッセージが出る。	① ケーブルが正しく接続されていない。	❶ 正しく接続されていることを確認してください。	P.65
	② カメラの電源がOFFになっている。	❷ カメラのバリアを開けて、電源をONにしてください。	P.18
	③ 電池がない。	❸ 新しい電池を入れるか、ACアダプタ(別売)をお使いください。	P.16 P.17
	④ パソコンのシリアルポートが正しく設定されていない。	❹ パソコンでシリアルポートが正しく設定されていることを確認してください。	

画像の出来が良くない場合

こんなときには…	原因	こうしましょう	参照ページ
ピントの合っていない写真ができた。	① シャッターボタンを押すときにカメラが動いてしまった。(カメラぶれ)	❶ カメラを正しく構え、シャッターボタンを静かに押してください。	P.21
	② ピントを合わせたいものが、オートフォーカスマークからずれてしまった。	❷ ピントを合わせたいものを画面中央に持ってくるか、フォーカスロック撮影を行ってください。	P.27
	③ レンズが汚れていた。	❸ レンズをきれいにしてください。	
	④ 使用しているモードが違っていた。	❹ 0.2〜0.8m以内に被写体がある場合はマクロモードを使い、それ以上の場合は通常モードを使ってください。	P.26 P.34
	⑤ セルフタイマー撮影で、カメラの直前に立ってシャッターボタンを押した。	❺ カメラの前に立たず、ファインダーをのぞきながらシャッターボタンを押してください。	
	⑥ ワンタッチフォーカスで被写体距離を確認せずに撮影してしまった。	❻ ワンタッチフォーカスの合焦距離範囲で撮影してください。	P.27

こんなときには…	原因	こうしましょう	参照ページ
できあがった画像が暗い。	① フラッシュを指などで覆ってしまった。	❶ カメラを正しく構え、フラッシュを覆わないように気を付けてください。	P.21
	② 撮りたいものがフラッシュ撮影範囲よりも遠くにあった	❷ フラッシュ撮影可能範囲内で撮影してください。	P.29
	③ フラッシュモードが発光禁止になっていた。	❸ フラッシュのモードを確認してから撮影してください。	P.30
	④ 逆光状態で小さい被写体を撮影した。	❹ フラッシュのモードを強制発光モードにセットして撮影してください。	P.30
できあがった画像が明るすぎる。	① フラッシュモードが強制発光になっていた。	❶ 強制発光以外のフラッシュモードを選んでください。	P.30
	② 高輝度の被写体に向かって撮影した。	❷ 露出補正をするか、カメラの向きを変えるなどの工夫をしてください。	P.37
室内で写した写真の色がおかしい。	① 照明の色が影響した。	❶ フラッシュのモードを強制発光にセットして撮影してください。	P.30
	② 被写体に白い部分がなかった。	❷ 画角に白い被写体を入れて撮影するか、照明に合わせてホワイトバランスを設定してください。	P.40
	③ ホワイトバランスの設定を間違えた。	❸ 照明に合わせてホワイトバランスを設定してください。	P.40
画像の一部が欠けてしまった。	① レンズに指やストラップがかかってしまった。	❶ カメラを正しく構え、レンズに指やストラップをかけないように気を付けてください。	P.21
	② 撮影距離が近かった。	❷ 液晶モニタを使ってください。	P.25

アフターサービスについて

■ 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上大切に保管してください。

■ 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または裏表紙の当社サービスステーションにご相談ください。使用説明書等にしたがったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満一ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。

■ 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。また運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。

■ 当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後8年間を目安に当社では保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店また、お近くの当社サービスステーションにお問い合わせください。

■ 本製品の保証、修理、サービスは日本国内でのみ有効です。

■ 本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等)については補償しかねます。

液晶画面とバックライトについて

■ 本製品のコントロールパネル、及び液晶モニタに使用されている液晶画面のバックライトの蛍光管には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらつき始めたら、当社サービスステーションにお問い合わせください。（修理は有料となります。）

■ 一般に低温になるにしたがってバックライトは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下したバックライトは、常温に戻ると回復します。

■ 一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、特性上明るさにむらが生じることがありますが、故障ではありません。

画像ファイルの互換性について

C-900ZOOMで撮影した画像を他のオリンパスデジタルカメラで再生・印刷する場合及び他のオリンパスデジタルカメラで撮影した画像をC-900ZOOMで再生・印刷する場合は、以下のような制限がありますのでご注意ください。

C-900ZOOMで撮影
他のカメラで再生・印刷

他のカメラ	液晶モニタ再生	ダイレクトプリント (P-300/P-150接続時)
C-830L	○	○ 注1
C-840L	×	×
C-820L	×	×
C-420L	×	×
C-1400XL	×	×
C-1400L	×	×
C-1000L	×	×

他のカメラで撮影
C-900ZOOMで再生・印刷

他のカメラ	液晶モニタ再生	ダイレクトプリント (P-300/P-150接続時)
C-830L	○	○ 注1
C-840L	○	○
C-820L	○	○
C-420L	○	○
C-1400XL	○ 注2	○ 注3
C-1400L	○ 注2	○ 注3
C-1000L	○	○

注1：非圧縮SHQモードで撮影した画像は印刷できません。
注2：画面の上下に表示されない部分があります。
注3：画面の上下に印刷されない部分があります。また、HQ/SHQモードで撮影した画像はパソコンから印刷したほうがよりきれいなプリントが得られます。

主な仕様

形式	：デジタルカメラ(記録・再生型)
記録方式	：デジタル記録(JPEG準拠)
記録媒体	：3.3V スマートメディア 2MB、4MB、8MB、16MB
記録コマ数	：2枚(非圧縮SHQモード／8MBカード) 18枚以上 (SHQモード／8MBカード) 36枚以上 (HQモード／8MBカード) 122枚以上 (SQモード／8MBカード)
消去	：1コマ消去、全コマ消去
撮像素子	：1/2.7インチCCD固体撮像素子 ：131万画素(総画素数)
記録画素数	：1280 X 960 ピクセル (非圧縮SHQ・SHQ・HQモード) ：640 X 480 ピクセル (SQモード)
ホワイトバランス	：フルオートTTL、 プリセット(昼光、曇天、電球、蛍光灯)
レンズ	：オリンパスレンズ 5.4〜16.2mm、 F2.8〜4.4、6群8枚(35mmフィルム換算35〜105mm相当)
測光方式	：撮像素子によるデジタルESP測光方式、 スポット測光
露出制御方式	：プログラム自動露出
絞り＊	：**W** ： F2.8、F8 ：**T** ： F4.4、F12.6
シャッター＊	：1/2〜1/1000秒 (メカニカルシャッター併用) ＊マニュアル設定はできません。
撮影範囲	：0.8m〜∞(通常モード) 0.2m〜0.8m(マクロモード)
ファインダー	：光学実像式ファインダー(オートフォーカスマーク/逆光自動補正マーク)、 液晶モニタ
液晶モニタ	：1.8インチTFTカラー液晶 (低温ポリシリコン)
モニタ画素数	：約114,000画素
オンスクリーン表示	：日付時刻、コマナンバー、プロテクト、画質モード、消去方法の指示、電池残量表示、メニュー設定、ファイル番号表示、他

フラッシュ充電時間：約8秒(常温時、新品電池使用)
フラッシュ撮影範囲：**W**：約0.2m〜4m
：**T**：約0.2m〜2.6m
フラッシュモード：オート発光(低輝度時自動発光、逆光時自動発光)、赤目軽減発光、発光禁止、強制発光
コントロールパネル：画質モード、撮影可能枚数、カード警告、フラッシュモード、セルフタイマー、電池残量、連写、マクロモード、カード機能、露出補正、スポットマーク、プリセットホワイトバランス
オートフォーカス：TTL方式AF
コントラスト検出方式／
焦点調節範囲：0.2m〜∞
セルフタイマー：作動時間約12秒
外部コネクター：DC入力端子、
データ入出力端子 (RS232C)、
ビデオ出力端子 (NTSC方式)
日付・時刻：画像データに同時記録
自動カレンダー機能：2030年まで自動修正
カレンダー用電源：本体電源と共用(内蔵キャパシタによるバックアップ付)

ダイレクトプリント
(専用プリンタでダイレクトプリント可能)
：1枚プリント、30コマインデックスプリント、予約プリント、4分割プリント、16分割シールペーパープリント、クローズアッププリント、転写プリント、日付入プリント、カード予約
カード機能(機能付スマートメディア使用時)
：パノラマ合成、テンプレート合成、カレンダー合成、手書きタイトル合成
使用環境
温度：0〜40℃(動作時)／
−20〜60℃(保存時)
湿度：30〜90%(動作時)／
10〜90%(保存時)
電源：単3アルカリ電池、ニッケル水素電池、リチウム電池、またはニッカド電池4本。単3マンガン電池は使用できません。
大きさ：幅127mm×
高さ66.5mm×
厚さ53mm(突起部含まず)
質量：270g(電池／カード別)

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

OLYMPUS®

オリンパス光学工業株式会社

〒163-8610 東京都新宿区西新宿1の22の2 新宿サンエービル

カスタマーサポートセンター (製品に関するお問い合わせ)

Tel. 0426 (42) 7499　　Fax. 0426 (42) 7486

営業時間　10：00 ～ 12：00

13：00 ～ 17：00（土・日・祝日及び弊社定休日を除く）

※オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp でデジタルカメラ及び関連製品の技術提供をしております。

国内サービスステーション（修理受付窓口）

※土・日曜、祝日および年末年始は原則として休みます。オリンパスプラザは土曜も営業しております。

東　京　〒101-0052　千代田区神田小川町1の3の1 小川町三井ビル
(オリンパスプラザ内)....Tel. 03(3292)1931

札　幌　〒060-0003　札幌市中央区北3条西4丁目
日本生命札幌ビル ....Tel. 011(231)2320

(1998年11月から)

札　幌　〒060-0034　札幌市中央区北4条東1丁目 2の3
札幌フコク生命ビル ....Tel. 011(231)2320

仙　台　〒980-0811　仙台市青葉区一番町1の3の1
日本生命仙台ビル ....Tel. 022(225)6821

新　潟　〒950-0087　新潟市東大通り2の4の10
日本生命新潟ビル ....Tel. 025(245)7337

松　本　〒390-0815　松本市深志1の2の11
松本昭和ビル................Tel. 0263(36)5331

名古屋　〒460-0003　名古屋市中区錦2の19の25
日本生命広小路ビル ....Tel. 052(201)9571

金　沢　〒920-0961　金沢市香林坊1の2の24
千代田生命金沢ビル ....Tel. 076(262)8257

大　阪　〒542-0081　大阪市中央区南船場2の12の26
オリンパス大阪センターTel. 06(252)6991

高　松　〒760-0007　高松市中央町11の11
高松大林ビル................Tel. 087(834)6166

広　島　〒730-0013　広島市中区八丁堀16の11
日本生命広島第2ビル..Tel. 082(228)3821

福　岡　〒810-0001　福岡市中央区天神1の14の1
日本生命福岡ビル ....Tel. 092(761)4466

鹿児島　〒892-0846　鹿児島市加治屋町12の7
日本生命加治屋町ビル ....Tel. 099(225)1105

沖　縄　〒900-0015　那覇市久茂地3の1の1
日本生命那覇ビル ....Tel. 098(864)5396

1AG6P1P0523 ——　　VT017300